

(様式第10)

愛大医総 第579号
平成28年10月27日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

国立大学法人愛媛大学
学長 大橋 裕

愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成28年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒790-8577 松山市道後樋又10番13号
氏名	国立大学法人愛媛大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

愛媛大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒791-0295 愛媛県東温市志津川	電話(089-964-5111)
---------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	⑦内分泌内科	⑧代謝内科
⑨感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科 ②消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
①歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 膠原病・リウマチ内科 2 高血圧内科 3 アレルギー内科 4 糖尿病内科 5 老年内科 6 薬物療法内科 7 総合診療科 8 消化器腫瘍外科 9 食道・胃・大腸外科 10 内視鏡外科 11 肝胆膵・移植外科 12 乳腺・内分泌外科 13 形成外科 14 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 15 病理診断科 16 リハビリテーション科 17 臨床検査科
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	1床	1床	602床	644床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	226人	178人	362.9人	看護補助者	66人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	7人	9.8人	理学療法士	10人	臨床検査技師	43人
薬 剤 師	49人	1人	49.8人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助 産 師	12人	0人	12人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	618人	20人	633.5人	臨床工学士	16人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	5人	0人	5人	歯科技工士	2人	事務職員	152人
管理栄養士	7人	3人	8.3人	診療放射線技師	32人	その他の職員	24人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	36人	眼科専門医	7人
外科専門医	27人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	12人
小児科専門医	16人	脳神経外科専門医	9人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	14人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	14人
産婦人科専門医	8人	救急科専門医	3人
		合 計	182人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (附属病院長 三浦 裕正) 任命年月日 平成27年4月1日

平成22年4月1日に整形外科の教授に就任後、診療科長として医療安全管理委員会の委員となり、平成27年4月1日に附属病院長に就任後、医療安全管理委員会の委員長を務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	491.2 人	11.9 人	503.1 人
1日当たり平均外来患者数	1,193.5 人	53.8 人	1,247.3 人
1日当たり平均調剤数	725.1 剤		
必要医師数	121.1人		
必要歯科医師数	4.2人		
必要薬剤師数	17.0人		
必要(准)看護師数	312.0人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要		
集中治療室	432 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	22床	心電計	有 無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有 無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 281 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	14 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 20 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	302 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動検体検査システム 全自動化学発光免疫測定装置			
細菌検査室	266 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) MALDI-バイオタイパー(細菌同定装置) 自動細菌タイピング装置			
病理検査室	175 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 液状化検体細胞診標本作製装置 自動免疫染色装置			
病理解剖室	399 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台、局所排気装置			
研究室	314 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン、顕微鏡、プロジェクターなど			
講義室	734 m ²	鉄筋コンクリート	室数 18 室	収容定員 300 人		
図書室	99 m ²	鉄筋コンクリート	室数 1 室	蔵書数 10,000 冊程度		

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		94.4%	逆紹介率		65.7%
算出根拠	A: 紹介患者の数		13,033	人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,253	人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		262	人	
	D: 初診の患者の数		14,088	人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
西村 誠明	愛媛県立中央病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ 無	1
大熊 伸定			法律に関する識見を有する者	有・ 無	1
河野 和博	愛媛県難病等患者 団体連絡協議会/ 愛媛県腎臓病患者 連絡協議会		医療を受ける者	有・ 無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 無
委員の選定理由の公表の有無	有 無
公表の方法 愛媛大学ホームページの情報公開のページ内に、「附属病院における医療安全管理について」という事項を設け、監査委員会規程及び委員会名簿(選定理由を含む)を公表している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	25人
前眼部三次元画像解析	68人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブシン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
ベペルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	1人
放射線照射前に大量メトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中樞神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	1人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 実績なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
2	56	球脊髄性筋萎縮症	73	ベーチェット病	73
23	57	筋萎縮性側索硬化症	43	特発性拡張型心筋症	43
2	58	脊髄性筋萎縮症	6	肥大型心筋症	6
0	59	原発性側索硬化症	0	拘束型心筋症	0
13	60	進行性核上性麻痺	28	再生不良性貧血	28
199	61	パーキンソン病	3	自己免疫性溶血性貧血	3
12	62	大脳皮質基底核変性症	4	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
1	63	ハンチントン病	54	特発性血小板減少性紫斑病	54
0	64	神経有棘赤血球症	1	血栓性血小板減少性紫斑病	1
1	65	シャルコー・マリー・トウス病	7	原発性免疫不全症候群	7
80	66	重症筋無力症	5	IgA 腎症	5
0	67	先天性筋無力症候群	14	多発性嚢胞腎	14
117	68	多発性硬化症/視神経脊髄炎	26	黄色靱帯骨化症	26
15	69	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	137	後縦靱帯骨化症	137
1	70	封入体筋炎	4	広範脊柱管狭窄症	4
0	71	クドウ・深瀬症候群	68	特発性大腿骨頭壊死症	68
16	72	多系統萎縮症	11	下垂体性ADH分泌異常症	11
41	73	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	2	下垂体性TSH分泌亢進症	2
6	74	ライソゾーム病	4	下垂体性PRL分泌亢進症	4
0	75	副腎白質ジストロフィー	3	クッシング病	3
8	76	ミトコンドリア病	0	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
35	77	もやもや病	25	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	25
1	78	プリオン病	23	下垂体前葉機能低下症	23
0	79	亜急性硬化性全脳炎	0	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
0	80	進行性多巣性白質脳症	0	甲状腺ホルモン不応症	0
2	81	HTLV-1関連脊髄症	1	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
0	82	特発性基底核石灰化症	0	先天性副腎低形成症	0
10	83	全身性アミロイドーシス	0	アジソン病	0
0	84	ウルリッヒ病	69	サルコイドーシス	69
0	85	遠位型ミオパチー	9	特発性間質性肺炎	9
0	86	ベスレムミオパチー	8	肺動脈性肺高血圧症	8
0	87	自己食空胞性ミオパチー	0	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
0	88	シュワルツ・ヤンペル症候群	4	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
20	89	神経線維腫症	2	リンパ脈管筋腫症	2
45	90	天疱瘡	26	網膜色素変性症	26
5	91	表皮水疱症	3	パッド・キアリ症候群	3
5	92	膿疱性乾癬(汎発型)	0	特発性門脈圧亢進症	0
0	93	スティーヴンス・ジョンソン症候群	44	原発性胆汁性肝硬変	44
1	94	中毒性表皮壊死症	2	原発性硬化性胆管炎	2
27	95	高安動脈炎	17	自己免疫性肝炎	17
4	96	巨細胞性動脈炎	49	クローン病	49
10	97	結節性多発動脈炎	112	潰瘍性大腸炎	112
37	98	顕微鏡的多発血管炎	3	好酸球性消化管疾患	3
12	99	多発血管炎性肉芽腫症	1	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
11	100	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
3	101	悪性関節リウマチ	0	腸管神経節細胞減少症	0
8	102	パージャール病	0	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
2	103	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	CFC症候群	0
176	104	全身性エリテマトーデス	0	コステロ症候群	0
93	105	皮膚筋炎/多発性筋炎	0	チャージ症候群	0
81	106	全身性強皮症	0	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	107	混合性結合組織病	0	全身型若年性特発性関節炎	0
18	108	シェーグレン症候群	0	TNF受容体関連周期性症候群	0
13	109	成人スチル病	0	非典型溶血性尿毒症症候群	0
5	110	再発性多発軟骨炎	0	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
0	111 先天性ミオパチー	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
0	112 マリネスコ・シェーグレン症候群	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	13
5	113 筋ジストロフィー	163	特発性後天性全身性無汗症	0
0	114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	164	眼皮膚白皮症	0
0	115 遺伝性周期性四肢麻痺	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
0	116 アトピー性脊髄炎	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
2	117 脊髄空洞症	167	マルファン症候群	0
1	118 脊髄髄膜瘤	168	エーラス・ダンロス症候群	0
0	119 アイザックス症候群	169	メンケス病	0
0	120 遺伝性ジストニア	170	オキシピタル・ホーン症候群	0
0	121 神経フェリチン症	171	ウィルソン病	5
1	122 脳表ヘモジデリン沈着症	172	低ホスファターゼ症	0
0	123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	173	VATER症候群	0
0	124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	174	那須・ハコラ病	0
0	125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	175	ウィーバー症候群	0
0	126 ベリー症候群	176	コフィン・ローリー症候群	0
4	127 前頭側頭葉変性症	177	有馬症候群	0
1	128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	178	モワット・ウィルソン症候群	0
0	129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	179	ウィリアムズ症候群	0
0	130 先天性無痛無汗症	180	ATR-X症候群	0
0	131 アレキサンダー病	181	クルーゾン症候群	0
0	132 先天性核上性球麻痺	182	アペール症候群	0
0	133 メビウス症候群	183	ファイファー症候群	0
0	134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
0	135 アイカルディ症候群	185	コフィン・シリス症候群	0
0	136 片側巨脳症	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
0	137 限局性皮膚異形成	187	歌舞伎症候群	0
0	138 神経細胞移動異常症	188	多脾症候群	0
0	139 先天性大脳白質形成不全症	189	無脾症候群	0
0	140 ドラベ症候群	190	鰓耳腎症候群	0
0	141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	191	ウェルナー症候群	0
0	142 ミオクロニー欠伸てんかん	192	コケイン症候群	0
0	143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
0	144 レノックス・ガストー症候群	194	ソトス症候群	0
0	145 ウエスト症候群	195	ヌーナン症候群	0
0	146 大田原症候群	196	ヤング・シンブソン症候群	0
0	147 早期ミオクロニー脳症	197	1p36欠失症候群	0
0	148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	198	4p欠失症候群	0
0	149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	199	5p欠失症候群	0
0	150 環状20番染色体症候群	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
0	151 ラスムッセン脳炎	201	アンジェルマン症候群	0
0	152 PCDH19関連症候群	202	スミス・マギニス症候群	0
0	153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	203	22q11.2欠失症候群	1
0	154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	204	エマヌエル症候群	0
0	155 ランドウ・クレフナー症候群	205	脆弱X症候群関連疾患	0
0	156 レット症候群	206	脆弱X症候群	0
0	157 スタージ・ウェーバー症候群	207	総動脈幹遺残症	0
1	158 結節性硬化症	208	修正大血管転位症	0
0	159 色素性乾皮症	209	完全大血管転位症	0
0	160 先天性魚鱗癬	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名		患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症		0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症		0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病		0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症		0
215	ファロー四徴症	3	263	脳腫黄色腫症		0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症		0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症		0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱		0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群		0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群		0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群		0
222	一次性ネフローゼ症候群	6	270	慢性再発性多発性骨髄炎		0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎		4
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症		0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症		0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症		0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症		0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症		0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病		0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)		0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)		1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)		0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペルトレノネー・ウェーバー症候群		4
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血		0
235	副甲状腺機能低下症	5	283	後天性赤芽球癆		1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血		0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血		0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血		0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群		0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII		0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群		0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症		0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)		0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症		0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残		0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア		0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫		0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症		2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群		0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性降炎		0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症		0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患		0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー		0
254	ホルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症		0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群		0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴		0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫		0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎		13

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	精神疾患診療体制加算
歯科外来診療環境体制加算	特定集中治療室管理料4
歯科診療特別対応連携加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
特定機能病院入院基本料 一般	新生児特定集中治療室管理料1
特定機能病院入院基本料 精神	新生児治療回復室入院医療管理料
看護補助加算	小児入院医療管理料2
医師事務作業補助体制加算	短期滞在手術等基本料2
超急性期脳卒中加算	入院時食事療養/生活療養(I)
診療録管理体制加算2	
急性期看護補助体制加算	
療養環境加算	
重症者等療養環境特別加算	
無菌治療室管理加算1	
無菌治療室管理加算2	
緩和ケア診療加算	
精神科身体合併症管理加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1	
患者サポート体制充実加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
退院支援加算	
総合評価加算	
病棟薬剤業務実施加算	
データ提出加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
高度難聴指導管理料	時間内歩行試験
糖尿病合併症管理料	胎児心エコー法
がん性疼痛緩和指導管理料	ヘッドアップティルト試験
がん患者指導管理料1	皮下連続式グルコース測定
がん患者指導管理料2	長期継続頭蓋内脳波検査
がん患者指導管理料3	神経学的検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	補聴器適合検査
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	ロービジョン検査判断料
糖尿病透析予防指導管理料	コンタクトレンズ検査料1
ニコチン依存症管理料	小児食物アレルギー負荷検査
歯科治療総合医療管理料	内服・点滴誘発試験
がん治療連携計画策定料	CT透視下気管支鏡検査加算
肝炎インターフェロン治療計画料	画像診断管理加算2
薬剤管理指導料	遠隔画像診断
医療機器安全管理料1	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
医療機器安全管理料2	CT撮影及びMRI撮影
医療機器安全管理料(歯科)	冠動脈CT撮影加算
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	心臓MRI撮影加算
持続血糖測定器加算	乳房MRI撮影加算
遺伝学的検査	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	外来化学療法加算1
検体検査管理加算(I)	無菌製剤処理科
検体検査管理加算(IV)	心大血管疾患リハビリテーション料(I)
国際標準検査管理加算	脳血管疾患等リハビリテーション料(II)
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	運動器リハビリテーション料(I)
遺伝カウンセリング加算	呼吸器リハビリテーション料(I)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科口腔リハビリテーション料2	ゲル充填人口乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
児童思春期精神科専門管理加算	経皮的中心筋焼灼術
認知療法・認知行動療法1	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
精神科作業療法	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
医療保護入院等診療料	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
エタノールの局所注入(甲状腺)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
エタノールの局所注入(副甲状腺)	補助人工心臓
CAD/CAM冠	小児補助人工心臓
歯周組織再生誘導手術	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術
悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	腹腔鏡下肝切除術
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	生体部分肝移植術
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	同種死体肝移植術
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	同種死体腎移植術
羊膜移植術	生体腎移植術
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	膀胱水圧拡張術
網膜再建術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	腹腔鏡下仙骨腫固定術
乳がんセンチネルリンパ節加算1	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。)のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く)に係るものに限る)	.
・先天性難聴の遺伝子診断(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託するもの)	.
・インプラント義歯	.
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	48回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 14 例 / 剖検率 9.7 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
潰瘍性大腸炎の発症関連及び予防要因解明を目的とした症例対照研究	三宅 吉博	大学院医学系研究科	2,047,000	補委 厚生労働省
未就学児の睡眠・情報通信機器使用の実態把握と早期介入に関する研究:保健指導マニュアルの構築	岡 靖哲	医学部附属病院	6,890,000	補委 厚生労働省
小児慢性特定疾病児童等自立支援員による相談支援に関する研究	檜垣 高史	大学院医学系研究科	3,168,000	補委 厚生労働省
T細胞の疲弊を制御する分子メカニズムの解明	山田 武司	大学院医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
新規潰瘍性大腸炎治療薬の探索	荒木 博陽	医学部附属病院	1,170,000	補委 日本学術振興会
レジチンが1型糖尿病に関連するメカニズムの解明と、インスリン依存予知法の確立	高田 康徳	大学院医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会
自律神経系機能の低下と糖尿病発症に関するコホート研究	斉藤 功	大学院医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
睡眠呼吸障害が肝疾患患者の予後に及ぼす影響に関する多施設共同疫学研究	古川 慎哉	大学院医学系研究科	910,000	補委 日本学術振興会
天然物成分の腫瘍組織環境制御による抗腫瘍効果とその作用機構	木村 善行	大学院医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
消化管ホルモン受容体相互関連および機能発現の解析	松浦 文三	大学院医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会
門脈圧亢進症による脾血流動態異常が脾内分泌障害および脾内分泌障害に及ぼす影響	熊木 天児	大学院医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
血栓症における血漿トロンビン切断型オステオポンチン測定の有用性	檜垣 實男	大学院医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
アルツハイマー病のインスリン抵抗性を標的とするアポモルフィン治療法の開発	大八木 保政	大学院医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会
先天性血小板減少症の新たな原因遺伝子の同定とその機能解析	羽藤 高明	医学部附属病院	1,560,000	補委 日本学術振興会
造血幹細胞へのT細胞レセプター遺伝子導入による革新的造血幹細胞移植療法の開発	東 太地	医学部附属病院	1,560,000	補委 日本学術振興会
新生児の腸内フローラの形成が成長発達に与える影響に関する研究	田内 久道	医学部附属病院	1,690,000	補委 日本学術振興会
TEL-AML1陽性白血病の発症過程の解明と分子標的療法の開発	江口 峰斉	医学部附属病院	1,040,000	補委 日本学術振興会
心停止ドナーからの肺移植における血管内皮細胞の破綻とその抑制	岡崎 幹生	医学部附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
梗塞巣への浸潤細胞を使って脳梗塞を治す	久門 良明	大学院医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
妊娠高血圧症候群の病態形成にはトロホプラストに発現するHMGA1が関与している	松原 圭一	医学部附属病院	1,040,000	補委 日本学術振興会

リポソーム加工オンコリティックア デノウイルスによる卵巣癌特異的 遺伝子治療法の開発	濱田 雄行	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
遺伝子改変マウスを用いた子宮 頸癌発生における各種増殖因 子・癌遺伝子の役割の解明	松元 隆	大学院医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術 振興会
骨髄線維芽細胞の注入による角 膜実質再生	大橋 裕一	大学院医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
マウス皮膚上皮SP細胞から角膜 上皮細胞への形質転換誘導因 子の同定	白石 敦	大学院医学系研究科	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
リンパ節転移機構の解明による 新規口腔癌治療戦略の確立	合田 啓之	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
排泄障害のある認知症高齢者の 潜在能力を活用した排泄行動援 助プログラムの有効性	陶山 啓子	大学院医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術 振興会
高齢者入所施設で排尿誘導法を 効果的に実践するためのプロト コールの作成	中村 五月(形上 五月)	大学院医学系研究科	780,000	補 委	日本学術 振興会
在宅要介護高齢者の排泄障害 の介入時期に基づいた援助プロ グラムの有効性	田中 久美子	大学院医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
幼児・学童期発達障害児と親を 支援する先輩親からのメンタリ ング・プログラムの開発	西嶋 真理子	大学院医学系研究科	1,040,000	補 委	日本学術 振興会
塩基配列特異的なメチル化シト シンin situ検出法の開発	北澤 荘平	大学院医学系研究科	650,000	補 委	日本学術 振興会
バルプロ酸による放射線誘発口 腔粘膜炎症軽減作用の検討	田中 亮裕	医学部附属病院	780,000	補 委	日本学術 振興会
新たな動脈硬化リスクとしてのサ ルコペニア	越智 雅之	医学部附属病院	1,040,000	補 委	日本学術 振興会
Cキナーゼ阻害剤で誘導されたヒ ト免疫寛容樹状細胞による自己 免疫疾患治療への展開	松本 卓也	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術 振興会
食餌中脂肪酸組成により誘導さ れたNASHと肝癌の発生機序の 解明と制御法の開発	三宅 映己	大学院医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
次世代型最小侵襲鏡視下靱帯 再建システムの確立と実用化に 関する研究	渡邊 誠治	医学部附属病院	910,000	補 委	日本学術 振興会
地域指向性尺度の検証と活用 に関する調査研究	川本 龍一	大学院医学系研究科	520,000	補 委	日本学術 振興会
成長軟骨板に依存する長管骨発 生プロセスの理解：組織系譜解 析によるアプローチ	原口 竜摩	大学院医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
上皮間葉相互転換システムを利用 した細胞極性の形成と消失の 可逆的制御機構の解析	福田 信治	プロテオサイエンスセ ンター	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
破骨細胞分化因子受容体 (RANK)発現制御機構の解析	北澤 理子	医学部附属病院	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
雄性生殖体の鞭毛放出と PyGM75の構造機能相関解析	橋 真由美	プロテオサイエンスセ ンター	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
認知症予防を目的とした脳萎 縮、認知機能検査の縦断研究	伊賀瀬 道也	医学部附属病院	1,820,000	補 委	日本学術 振興会
高品位な知識抽出を実現する三 階層オントロジーフレームワーク の開発	木村 映善	大学院医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
ホルマリン固定臓器からの薬毒 物分析法の開発研究	浅野 水辺	大学院医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術 振興会

H. pylori感染におけるパターン認識受容体を介したリンパ球浸潤機序の解明	伊藤 有紀	プロテオサイエンスセンター	1,430,000	補委	日本学術振興会
C型肝炎ウイルスによる炎症に起因する肝発癌および癌進展機序とPKRの役割	日浅 陽一	大学院医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
糖尿病・肥満・脂肪肝を介した肝発癌におけるアディポカインBAFFの役割	阿部 雅則	大学院医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
肝硬変の小腸脂質吸収障害に対するBCAA(分枝鎖アミノ酸)の保護作用の解明	竹下 英次	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会
白血病に対する細胞免疫療法の最適化に向けて-T細胞ネットワークを輸注する-	藤原 弘	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
自己免疫疾患における抗原特異的免疫抑制療法の確立に向けた研究	長谷川 均	大学院医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
うつ病患者における幼少期ストレスと白血球5HTT遺伝子発現とDNAメチル化の関連	伊賀 淳一	大学院医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
心臓CTによる冠動脈支配領域の自動抽出と定量評価	倉田 聖	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
新規シミュレーターとWT1ペプチドワクチン併用による肝癌局所療法の開発	廣岡 昌史	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
局所温熱化学療法による原発巣と所属転移リンパ節の同時治療の挑戦	吉田 素平	医学部附属病院	910,000	補委	日本学術振興会
グリオーマ特異的miRNAの性状解析に基づいた新規治療法および診断マーカーの確立	高野 昌平	医学部附属病院	1,040,000	補委	日本学術振興会
脳内ネットワークの多面的解析によるてんかん病態の解明:MRI陰性てんかんへの挑戦	國枝 武治	大学院医学系研究科	780,000	補委	日本学術振興会
新たな人工耳小骨の開発に関する研究	山田 啓之	医学部附属病院	650,000	補委	日本学術振興会
頭頸部扁平上皮がんリンパ節転移における遅延型TGFβの活性化変換機構の解析	矢野 元	大学院医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
マイクロバイオームを用いた遷延性難治性皮膚潰瘍に対する新規治療法の開発	森 秀樹	大学院医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
マイクログリアの睡眠覚醒リズム形成への関与:シナプスの貪食と形成の繰り返し	田中 潤也	大学院医学系研究科	650,000	補委	日本学術振興会
アミノ酸代謝によるヘルパーT細胞運命決定機構の解明	山下 政克	大学院医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
網羅的タンパク結合スクリーニングを駆使したステロイド性骨壊死予防法の開発	今井 祐記	プロテオサイエンスセンター	1,690,000	補委	日本学術振興会
革新的イメージングとKOマウスを駆使した骨代謝におけるArkadiaの機能解析	今村 健志	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
口腔癌におけるB細胞の局在と機能	浜川 裕之	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
経耳道照射法による睡眠状態の改善効果	佐伯 由香	大学院医学系研究科	650,000	補委	日本学術振興会
サルコペニアの嚥下機能低下様式の解明-筋萎縮分子機構の解明-	田中 加緒里(西窪加緒里)	大学院医学系研究科	130,000	補委	日本学術振興会
骨による骨格筋増強作用の分子メカニズムの解明	榎原 伊織	プロテオサイエンスセンター	2,080,000	補委	日本学術振興会

Meninによるエネルギー代謝調節を介した免疫老化制御機構の解明	鈴木 淳平	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
肝癌進展に及ぼすB細胞活性化因子の作用	小泉 光仁	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
小腸脂肪酸吸収関連蛋白のNASH病態へ与える影響と治療標的分子の解明	山本 安則	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
肝線維化におけるCD39の役割の解明とCD39を用いた新しい治療法の開発	吉田 理	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチに対する次世代免疫治療カルシウム阻害薬の有用性に関する検討	劉 爽	大学院医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
脳内AT2受容体およびHDAC2の相互作用による認知機能への影響	岩波 純	大学院医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会
髄液中エクソソームのmicroRNA解析によるグリオーマ新規診断マーカーの開発	山下 大介	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
二分脊椎神経回路における抑制神経の変化	カーン モハメド シャキル	大学院医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
STAT1リン酸化抑制による、神経障害痛治療に関する研究	西原 佑	医学部附属病院	2,210,000	補委	日本学術振興会
婦人科がんにおけるがん免疫逃避機構の解明	安岡 稔晃	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
脳虚血におけるインフラマソームを介した自然炎症の関与	朱 鵬翔	大学院医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
プロムワレリル尿素の全身性免疫反応症候群に対する治療効果のメカニズム解明	桑原 淳	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
腺様嚢胞癌の血行性転移における時空間制御機構の解明	村瀬 隆一	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
急性心筋梗塞における内皮Toll様受容体を介した冠微小循環傷害の分子機序の解明	倉田 美恵	プロテオサイエンスセンター	2,340,000	補委	日本学術振興会
高感度測定GAD抗体とHLAによる新たな糖尿病分類の試み	大沼 裕	大学院医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会
質量分析による肝炎ウイルス診断法の開発	武森 信暁	プロテオサイエンスセンター	1,690,000	補委	日本学術振興会
テロメア合成酵素が大動脈弁狭窄症の発症・進展に与える影響	青野 潤	医学部附属病院	2,210,000	補委	日本学術振興会
インターロイキン(IL)-18の血圧調節機構の解明	大蔵 隆文	大学院医学系研究科	2,470,000	補委	日本学術振興会
エピジェネティクス規定SNPと環境因子によるレジスチン遺伝子発現調節機構の解明	大澤 春彦	大学院医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
先天性血小板減少症の新規原因GPR遺伝子とその機能解析	山之内 純	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルス特異的免疫応答の解析	末盛 浩一郎	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
Toll様受容体を介す熱性痙攣と続発性てんかんの病態解明と新規分子標的療法の開発	福田 光成	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
MLL転座型白血病の白血球幹細胞の機能的マーカー探索と治療応用に向けた基礎的研究	江口 真理子	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会

皮膚抗菌ペプチド発現異常の改善を利用した掌蹠膿疱症の治療開発	村上 正基	医学部附属病院	2,470,000	補委	日本学術振興会
ヒト表皮角化細胞におけるIKK β によるIL-17誘導性遺伝子発現制御の解明	藤山 幹子	大学院医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
神経生理指標を用いた発達障害児の早期兆候に関する研究	堀内 史枝	医学部附属病院	2,730,000	補委	日本学術振興会
心停止ドナー肝移植のグラフト機能保護と術前評価:本邦での導入を目指す前臨床研究	高田 泰次	大学院医学系研究科	2,080,000	補委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症バイオマーカーの探索と病態発症機序の解明	泉谷 裕則	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
サルコペニア肥満に対する筋肉内異所性脂肪沈着に着目した新規治療法・運動療法の探索	茂木 正樹	大学院医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷に対する、肋間神経移行術による脊髄回路再生の研究	森野 忠夫	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
神経障害性疼痛による知覚過敏と骨密度低下に対する運動療法の効果に関する研究	尾形 直則	大学院医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
子宮内環境は正への治療的戦略:次世代の生活習慣病発症予防を目指して	杉山 隆	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
顔面神経麻痺後遺症の克服に向けた新規治療法の開発	羽藤 直人	大学院医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
頭頸部扁平上皮がんリンパ節転移におけるLOXL2の効果	鶴久森 徹	大学院医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
ジンセンノイドRb1及びその化学的誘導体の神経外傷治療効果に関する研究	阪中 雅広	大学院医学系研究科	2,080,000	補委	日本学術振興会
脈管内を移動する癌細胞を標的とした転移制御研究	日野 聡史	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
ICTを活用した小児1型糖尿病患者への糖尿病自己管理教育支援の効果	薬師神 裕子	大学院医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
エクソメイン・シェディングの"ゆらぎ"とがん細胞不均一性の関連解析	東山 繁樹	プロテオサイエンスセンター	2,080,000	補委	日本学術振興会
2光子励起顕微鏡を用いたNASH進行早期診断における客観的指標の確立	山本 晋	大学院医学系研究科	2,470,000	補委	日本学術振興会
脂腺細胞の分泌膜小胞セボソームの構築と周辺組織への脂質供給機構	永井 彩子	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
エクソーム解析と遺伝子発現解析を利用した精神障害の解析研究	上野 修一	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
超高悪性口腔腫瘍のゲノム・エピゲノム解析	中城 公一	大学院医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
更年期女性の不定愁訴に対する経耳道光照射法の効果の探索	城賀本 晶子	大学院医学系研究科	910,000	補委	日本学術振興会
新規血管伸長制御因子KCTD proteinの機能解析	坂上 倫久	大学院医学系研究科	2,080,000	補委	日本学術振興会
4次元変分法による形態形成の動力学的機構を逆探索する技法の開発	齋藤 卓	医学部附属病院	2,470,000	補委	日本学術振興会
CUL3依存的な細胞内膜輸送が制御する血管新生の分子基盤	前川 大志	大学院医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会

グルタミン代謝による活性化T細胞運命決定機構の解明	桑原 誠	医学部附属病院	2,470,000	補委	日本学術振興会
インスリン糖代謝・動脈硬化因子と認知症リスクの解析	尾原 麻耶	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
in vivoイメージングを用いたPKR阻害剤の肝細胞癌増殖抑制効果の解明	渡辺 崇夫	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
門脈圧亢進症に伴う臍うっ血評価の有用性の検討と肝硬変モデルラットを用いた病態解明	黒田 太良	大学院医学系研究科	3,120,000	補委	日本学術振興会
レジスチンSNP・環境因子相互作用を標的としたインスリン抵抗性疾患の個別化医療	川村 良一	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
化学療法抵抗性白血病を治癒に導く新規細胞免疫療法の開発研究	朝井 洋晶	医学部附属病院	2,340,000	補委	日本学術振興会
ダウン症候群とアルツハイマー病のAPP遺伝子DNAメチル化ヒドロキシメチル化解析	森 蓉子	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
Elastographyと新たな線維化診断を用いた非侵襲的NASH診断の新展開	小泉 洋平	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
Perfusion CTを用いた新たな虚血スコア算出の試み	城戸 輝仁	大学院医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会
新規netrin-1シグナル阻害剤の開発とShh型髄芽腫治療への応用	中山 寛尚	プロテオサイエンスセンター	1,950,000	補委	日本学術振興会
脳梗塞辺縁部のNG2陽性マイクログリアの機能解析と脳梗塞治療への応用	松本 調	大学院医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
真珠腫の術中蛍光診断の開発に関する研究	高木 大樹	大学院医学系研究科	650,000	補委	日本学術振興会
Morphometrical and quantitative transcriptome analyses of C-C chemokine receptor 5 in functional structure of osteoclasts	李 智媛	プロテオサイエンスセンター	1,950,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌における血清Exosomal miRNAの発現機能解析	徳善 紀彦	医学部附属病院	1,950,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌治療に向けた新規核酸医薬品の開発	秋山 仁志	医学部附属病院	1,950,000	補委	日本学術振興会
在宅療養中の高齢糖尿病患者の生活と支援システムに関する研究	寺尾 奈歩子	大学院医学系研究科	650,000	補委	日本学術振興会
経管栄養患者の下痢症状を改善するためのケアプログラムの開発とその効果	小岡 亜希子	大学院医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
ラットによる間歇型一酸化炭素中毒の病態解明及び治療の究明	越智 紳一郎	大学院医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会
SGA性低身長を呈するミトコンドリア呼吸鎖異常症での脂肪酸輸送体FATP3の役割	徳澤 佳美	大学院医学系研究科	2,210,000	補委	日本学術振興会
上皮間葉相互転換システムを利用した細胞極性の形成と消失の可逆的制御機構の解析(国際共同研究強化)	福田 信治	プロテオサイエンスセンター	14,560,000	補委	日本学術振興会
PF75を標的とする新規熱帯熱マalaria伝搬阻止ワクチンの開発	鳥居 本美	プロテオサイエンスセンター	5,200,000	補委	日本学術振興会

新規遺伝子改変T細胞による難治性白血病の治療を目指した治療戦略	安川 正貴	大学院医学系研究科	5,590,000	補委	日本学術振興会
運動器疾患に対するエピジェネティック治療標的の探索	今井 祐記	プロテオサイエンスセンター	5,330,000	補委	日本学術振興会
がん骨転移と骨代謝を繋ぐ細胞間相互作用解明のための革新的イメージングシステム開発	今村 健志	大学院医学系研究科	5,590,000	補委	日本学術振興会
革新的イメージング技術とがんモデルメダカを駆使したがん転移研究	今村 健志	大学院医学系研究科	27,820,000	補委	日本学術振興会
睡眠教育パッケージの開発と教育現場における改善効果の検証	岡 靖哲	医学部附属病院	9,230,000	補委	日本学術振興会
血管新生におけるCUL3システムネットワークの解明	東山 繁樹	プロテオサイエンスセンター	7,540,000	補委	日本学術振興会
非定型的DNAメチル化修飾を指標とする腫瘍初期病変の同定	北澤 荘平	大学院医学系研究科	7,020,000	補委	日本学術振興会
スポロゾイトの肝細胞侵入におけるRON3の作用機序の解明とレセプターの同定	石野 智子	プロテオサイエンスセンター	6,890,000	補委	日本学術振興会
網羅的分子解析による口腔癌複合免疫化学療法の開発	浜川 裕之	大学院医学系研究科	13,780,000	補委	日本学術振興会
新規三日熱マリアワクチン候補抗原(PvGs24)の伝搬阻止効果の解析	鳥居 本美	プロテオサイエンスセンター	6,630,000	補委	日本学術振興会
医療応用のための非線形分光イメージング技術を基盤とした顕微鏡システムの開発	大嶋 佑介	大学院医学系研究科	12,610,000	補委	日本学術振興会
多彩な反応性を保持するがん特異的キメラ抗原受容体レパトアの作成	越智 俊元	大学院医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
ドキシサイクリン誘導性SV40T抗原導入細胞を用いた結膜三次元培養モデルの作製	三谷 亜里沙	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
口腔癌 liquid biopsy における exosomal RNA の有用性	浜川 知大	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
小児糖尿病患者用災害対応マニュアルの開発とその有用性の評価	遠藤 洋次	医学系研究科	1,040,000	補委	日本学術振興会
転写抑制因子Bach2による慢性アレルギー炎症制御機構の解明	山下 政克	大学院医学系研究科	3,770,000	補委	日本学術振興会
自己炎症疾患責任遺伝子変異症例の前向き研究による自己炎症疾患発症トリガーの解明	増本 純也	プロテオサイエンスセンター	3,120,000	補委	日本学術振興会
イメージング・シミュレーション・オミクスによる骨格形成機構の多角的解析	飯村 忠浩	学術支援センター	4,680,000	補委	日本学術振興会
流行地患者血液を用いた新規伝搬阻止ワクチン候補抗原の有効性の検討	石野 智子	プロテオサイエンスセンター	4,680,000	補委	日本学術振興会
トルコと日本の自己炎症疾患症例の血清中インフラマソーム活性化因子の比較調査研究	増本 純也	プロテオサイエンスセンター	5,070,000	補委	日本学術振興会
健康長寿社会の実現を目指した大規模認、知症コホート研究	森 崇明	医学部附属病院	63,000,000	補委	日本医療研究開発機構
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に対する診断・治療・予防法の開発及びヒトへの感染リスクの解明等に関する研究	安川 正貴	医学系研究科	54,000,100	補委	日本医療研究開発機構

マスターモデレーターとしての CUL3システムを標的とした血管 新生制御法の開発とがん治療応 用	東山 繁樹	プロテオサイエンスセ ンター	14,000,000	補 委	日本医療 研究開発 機構
				補 委	

計 156

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yukino Kawanami, Riko Kitazawa, Ryuma Haraguchi, et al.	●分子病理学	Hepatic Sinusoidal Obstruction Syndrome without Preceding Medical Events.	Case Reports in Clinical Medicine, Vol.05 No.03(2016), Article ID:64674, 4 pages 10.4236/crcm.2016	Case Report
2	Kanazu Ariyasu, Riko Kitazawa, Ryuma Haraguchi, et al.	●分子病理学	Inflammatory Fibroid Polyps of Large Bowel with PDGFRA Mutation	J Cell Sci Ther, 7: 234. doi:10.4172/2157-7013.1000234. 2016	Original Article
3	Trivedi PJ, Lammers WJ, van Buuren HR, et al.	●地域医療学	Stratification of hepatocellular carcinoma risk in primary biliary cirrhosis: a multicentre international study	Gut. 2016; 65: 321-329.[16.658]	Original Article
4	Miyawaki S, Kohara K, Kido T, et al.	●皮膚科学	Facial pigmentataion as a biomarker of carotid atherosclerosis in middle-aged to elderly healthy Japanese	Skin Res. and Technol.; 22(1):20-4, Feb.2016	Original Article
5	Yamamoto Y, Shiraishi A, Sakane Y, et al.	●眼科学	Involvement of Eyelid Pressure in Lid-Wiper Epitheliopathy.	Curr Eye Res. 2016; 41(2):171-8.	Original Article
6	Yamao, Y, T. Kunieda and R. Matsumoto	●脳神経外科学	"Reply to Commentary on "Neural correlates of mirth and laughter: A direct electrical cortical stimulation	Cortex 75: 244-246. 2016	Original Article
7	T Chisaka, M Mogi, H Nakaoka, et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Low protein diet-induced fetal growth restriction leads to exaggerated proliferative response to vascular injury in postnatal life	American Journal of Hypertension 29(1):54-62 January 2016.	Original Article
8	Shikatani Y, Okazaki M, Sakao N, et al.	●分子病理学講座	A case of mediastinal granular cell tumor with Horner's syndrome.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2015 Jun 2. [Epub ahead of print], doi: 10.5761/atcs.cr.15.00112	Case Report
9	Fujiwara H, Ochi T, Ochi F, et al.	●小児科学	Antileukemia multifunctionality of CD4+ T cells genetically engineered by HLA class I-restricted and WT1-specific T-cell receptor gene	Leukemia. 29: 2393-2401M Pediatr Int 58:331-337	Original Article
10	Watanabe T, Tokumoto Y, Joko K, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Effects of long-term entecavir treatment on the incidence of hepatocellular carcinoma in chronic hepatitis B patients	Hepato Int. 10: 320-327, 2016.	Original Article
11	Kamei H, Masuda S, Ishigami M, et al.	●肝胆臓・乳腺外科学	Association of interleukin4 gene polymorphisms of recipients and donors with acute rejection following living donor liver transplantation	Clin Res Hepato Gastroenterol 2016; 40(2):179-185	Original Article
12	Aoishi K, Takahashi H, Hato N, et al.	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Treatment of allergic rhinitis with intranasal infusion of botulinum toxin type A in mice	Life Sciences 147:132-136,2016	Original Article
13	Hiraoka A, Ochi M, Matsuda R, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Ultrasonography screening for hepatocellular carcinoma in Japanese patients with diabetes	J Diabetes. 8: 640-646,2016.	Original Article
14	Inoue A, Tanaka J, Takahashi H, et al.	●脳神経外科学	Blood vessels expressing CD90 in human and rat brain tumors.	Neuropathology 36 (2): 168-180. 2016	Original Article
15	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Microvascular complications and prevalence of urgency incontinence in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: The dacco study	Nuerourol Urodyn 35: 1024-27, 2016.	Original Article
16	Kawamoto R, Ninomiya D, Hasegawa Y, et al.	●地域医療学	Mildly elevated serum total bilirubin levels are negatively associated with carotid atherosclerosis among elderly persons with type 2 diabetes	Clin Exp Hypertens. 2016; 38: 107-112.[1.307]	Original Article
17	Ohue S, Kohno S, Inoue A, et al.	●脳神経外科学	Evaluation of serial changes on computed tomography and magnetic resonance imaging after implantation of carmustine wafers in patients with malignant gliomas for differential diagnosis of tumor	J Neurooncol 126 (1):119-126, 2016	Original Article
18	M Kukida, M Mogi, K Ohshima, et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Angiotensin II type 2 receptor inhibits vascular intimal proliferation with activation of PPARγ	American Journal of Hypertension 29(6) June 2016	Original Article
19	Kurosawa H, Tanizawa A, Tono C, et al.	●小児科学	Leukostasis in children and adolescents with chronic myeloid leukemia: Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group	Pediatr Blood Cancer 63: 406-411	Original Article

20	Tokuzen N, Nakashiro K, Tanaka H, Iwamoto K, Hamakawa H.	●口腔顎顔面外科学	Therapeutic potential of targeting cell division cycle associated 5 for oral squamous cell carcinoma.	Oncotarget 7(3):2343-2353, 2016	Original Article
21	Namba C, Tohyama M, Hanakawa Y, et al.	●皮膚科学	Paraneoplastic pemphigus associated with fatal bronchiolitis obliterans and intractable mucosal erosions: Treatment with cyclosporin in addition to steroid, rituximab and intravenous immunoglobulin.	J Dermatol.; 43(4): 419-22, Apr.2016	Case Report
22	Oda F, Tohyama M, Murakami A, Kanno K, Sonobe N, Sayama K.	●皮膚科学	Bromoderma mimicking pyoderma gangrenosum caused by commercial sedatives.	J Dermatol.; 43(5): 564-6, May.2016	Case Report
23	Iwama N, Metoki H, Ohkubo T, et al.	●産婦人科	Maternal clinic and home blood pressure measurements during pregnancy and infant birth weight: The Boshi Study.	Hypertension Research 39:151-157, 2016	Original Article
24	Umeda K, Adachi S, Horikoshi Y, et al.	●小児科学	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for Chediak-Higashi syndrome.	Pediatr Transplant 20: 271-275	Original Article
25	Fuji, S., Fujiwara, H., Nakano, N., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Early application of related SCT might improve clinical outcome in adult T-cell leukemia/lymphoma.	Bone Marrow Transplant. 51(2):205-11, 2016	Original Article
26	J Nakajima, M Okumura, M Yano, H Date, T Onuki, M Haniuda, Y Sano.	●心臓血管・呼吸器外科学	Myasthenia gravis with thymic epithelial tumour: a retrospective analysis of a Japanese database.	Eur J Cardiothorac Surg. 2016 May; 49(5):1510-5.	Original Article
27	Yoshino Y, Yoshida T, Mori T, Hirota S, Iga J, Ueno S.	●精神神経科学	Risk of idiopathic normal pressure hydrocephalus in older inpatients with schizophrenia.	Int Psychogeriatr 28(5) : 863-868, 2016	Original Article
28	Saito, I., Hitsumoto, S., Maruyama, T., et al.	●糖尿病内科学	Impact of heart rate variability on C-reactive protein concentrations in Japanese adult nonsmokers: the Toon Health Study.	Atherosclerosis, 2016; 244: 79-85.	Original Article
29	Akbar SM, Al-Mahtab M, Jahan M, Yoshida O, Hiasa Y.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Novel insights into immunotherapy for hepatitis B patients.	Expert Rev Gastroenterol Hepatol. 10: 267-76. 2016.	Review
30	Ohtsu N, Nakatani Y, Yamashita D, et al.	●脳神経外科学	Eva1 Maintains the Stem-like Character of Glioblastoma-Initiating Cells by Activating the Noncanonical NF- κ B Signaling Pathway.	Cancer Res 76 (1):171-181, 2016	Original Article
31	Mayumi T, Yoshida M, Tazuma S, et al.	●救急医学	The Practice Guidelines for Primary Care of Acute Abdomen 2015.	Jpn J Radiol. Jan; 34(1):80-115. 2016.	Case Report
33	Mayumi T, Yoshida M, Tazuma S, et al.	●救急医学	Practice Guidelines for Primary Care of Acute Abdomen 2015.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. Jan; 23(1):3-36. 2016.	Case Report
34	Oka R, Nakashiro K, Goda H, et al.	●口腔顎顔面外科学	Annexin A8 is a novel molecular marker for detecting lymph node metastasis in oral squamous cell carcinoma.	Oncotarget 7(4):4882-4889, 2016	Original Article
35	Najima, Y., Tomizawa-Murasawa, M., Saito, Y., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Induction of WT1-specific human CD8+ T cells from human HSCs in HLA class I α NOD/SCID/IL2raKO.	Blood. 127(6):722-34, 2016	Original Article
36	Murase R, Ishikawa A, Sumida T, et al.	●口腔顎顔面外科学	Objective validity of implant-retained overdenture with ball attachment system after marginal.	Br J Oral Maxillofac Surg 54(2):e21-25, 2016	Original Article
37	Yokota S, Yoshida O, Ono Y, Geller DA, Thomson AW.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Liver transplantation in the mouse: Insights into liver immunobiology, tissue injury, and allograft tolerance.	Liver Transpl. 22: 536-46, 2016.	Review
38	Kawamoto R, Katoh T, Ninomiya D, et al.	●地域医療学	Synergistic association of changes in serum uric acid and triglycerides with changes in insulin resistance after walking exercise in community-dwelling older women.	Endocr Res. 2016; 41: 116-123. [1.476]	Original Article
39	Imamura, H., R. Matsumoto, S. Takaya, T. Nakagawa, et al.	●脳神経外科学	Network specific change in white matter integrity in mesial temporal lobe epilepsy.	Epilepsy Res 120: 65-72. 2016	Original Article
40	Nakagawa T, Yamamoto M, Kumakawa K, et al.	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Prognostic impact of salvage treatment on hearing recovery in patients with sudden sensorineural hearing loss refractory to systemic corticosteroids: A retrospective study.	Auris Nasus Larynx 43:489-494, 2016	Original Article
41	Kikuchi K, Hiratsuka Y, Kohno S, et al.	●放射線医学	Radiological features of cerebellar glioblastoma.	Journal of Neuroradiology. 2016 Jul; 43(4): 260?265.	Original Article
42	Yuichi Tasaka, Daiki Yasunaga, Mamoru Tanaka, et al.	●医療薬学	Economic and safety benefits of pharmaceutical interventions by community and hospital pharmacists in Japan.	Int J Clin Pharm 38,321-329(2016)	Original Article
43	Coenen A, Lubbers MM, Kurata A, et al.	●放射線医学	Coronary CT angiography derived fractional flow reserve: Methodology and evaluation of a point of care.	J Cardiovasc Comput Tomogr. 2016; 10: 105-13.	Original Article
44	Chamoto, K., Guo, T., Imataki, O., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	CDR3 β sequence motifs regulate autoreactivity of human invariant NKT cell receptors.	J Autoimmun. 68:39-51, 2016	Original Article

45	Suzuki, J., Maruyama, S., Tamauchi, H., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Gfil, a transcriptional repressor, inhibits the induction of the T helper type 1 programme in activated CD4	Immunology. 147(4):476-87, 2016	Original Article
46	Hamai S, Nakashima Y, Mashima N, et al.	●整形外科	Comparison of 10-year clinical wear of annealed and remelted highly cross-linked polyethylene: A propensity-matched cohort study	Journal of the mechanical behavior biomedical materials 2016 59 99-107	Original Article
47	Matsubara K, Matsubara Y, Mori M, et al.	●産婦人科	Immune activation during the implantation phase causes preeclampsia-like symptoms via the CD40-CD40 ligand pathway in pregnant mice	Hypertens Res. 2016 39(6):407-14.	Original Article
48	Tomohiro Nishina, Toshikazu Moriwaki, Mitsuo Shimada, J et al.	●消化管・腫瘍外科学	Uracil-Tegafur and Oral Leucovorin Combined With Bevacizumab in Elderly Patients (Aged \geq 75 Years With Metastatic Colorectal Cancer: A Multicenter, Phase II Trial (Joint Study of Bevacizumab, Oral Leucovorin, and Uracil-Tegafur in Elderly Patients With Metastatic Colorectal Cancer)	Clinical Colorectal Cancer September 2016 236-242	Original Article
49	Shingo takatori, Yukina Hamada, Akihiro Tanaka, et al.	●医療薬学	Factors Contributing to the Clinical Effectiveness of the DPP-4 Inhibitor Sitagliptin in Patients With Type 2 Diabetes	Clinical Therapeutics 38 (2)398-403(2016)	Original Article
50	Ueno T, Yamashita M, Sawada S, et al.	●放射線医学	Pulmonary metastasectomy from renal cell carcinoma including 3 cases with sarcomatoid component	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2016; published online.	Original Article
51	Kawamoto R, Ninomiya D, Kasai Y, et al.	●地域医療学	Handgrip strength is associated with metabolic syndrome among middle-aged and elderly community-dwelling persons	Clin Exp Hypertens. 2016; 38: 245-251.[1,307]	Original Article
52	Fukuda S, Nishida-Fukuda H, Nanba D, et al.	●口腔顎顔面外科学	Reversible interconversion and maintenance of mammary epithelial cell characteristics by the ligand-regulated EGFR system	Sci Rep 6:20209, 2016.	Original Article
53	Hirooka M, Koizumi Y, Imai Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Usefulness of a new three-dimensional simulator system for radiofrequency ablation	PLoS One: 11: e0148298, 2016.	Original Article
54	Tanabe Y, Kido T, Kurata A, Miyagawa M, Mochizuki T, et al.	●放射線医学	Differentiation of myocardial ischemia and infarction assessed by dynamic computed tomography perfusion imaging and comparison with cardiac magnetic resonance and single-photon emission	Eur Radiol. 2016 Nov; 26(11): 3790-3801.	Original Article
55	Yong Wang, Yu Gan, Zhengyu Tan, Jet al.	●分子病理学	TDRG1 functions in testicular seminoma are dependent on the PI3K/Akt/mTOR signaling pathway	OncoTargets and Therapy, 9: 409-420, 2016.	Original Article
56	Naito T, Okuma S, Nagayama M, et al.	●眼科学	Sustainability of Intraocular Pressure Reduction of Travoprost Ophthalmic Solution in Subjects with Normal Tension Glaucoma	Adv Ther. 2016 Mar; 33(3):435-46.	Original Article
57	Hiraoka C, Toki F, Shiraishi K, et al.	●皮膚科学	Two clonal types of human skin fibroblasts with different potentials for proliferation and tissue remodeling ability	J Dermatol Sci. ;82(2): 84-94, May. 2016	Original Article
58	Saito T, Ikeda M, Mushiroda T, et al.	●精神神経科学	Pharmacogenomic Study of Clozapine-Induced Agranulocytosis/Granulocytopenia in a Japanese Population	Biol Psychiatry 80(8) : 636-642, 2016	Original Article
59	Abe Y, Sakai T, Okumura A, et al.	●小児科学	Manifestations and characteristics of congenital adrenal hyperplasia-associated encephalopathy	Brain Dev 38: 638-47	Original Article
60	Yao L, Abe M, Kawasaki K, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Characterization of liver myeloid-derived suppressor cells and their role in murine model of nonalcoholic	PLoS One. 11: e0149948, 2016.	Original Article
61	Tabara Y, Igase M, Okada Y, et al.	●老年・神経・総合診療内科学	Usefulness of the second derivative of the finger photoplethysmogram for assessment of end-organ damage: the LSHIPP study	Hypertens Res 39: 552-556, 2016.	Original Article
62	Kawabe K, Kondo S, Matsumoto M, et al.	●精神神経科学	Developmental quotient to estimate intelligence in autism spectrum disorder	Pediatr Int 58(10): 963-966, 2016	Original Article
63	Senba H, Furukawa S, Sakai T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Serum lipoprotein(a) levels and diabetic nephropathy among Japanese patients with type 2	J Diabetes Complications. 30: 923-927, 2016.	Original Article
64	Irahara T, Sato N, Inoue K, et al.	●救急医学	Low-intensity exercise in the acute phase of lipopolysaccharide-induced sepsis improves lipid metabolism and survival in mice by stimulating PGC-1 α expression	J Trauma Acute Care Surg. Jun; 80(6):933-940. 2016.	Original Article

65	Suzuki T, Yamamoto T, Kaito C, et al.	●解析病理学	Impact of psm-mec in Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus (ST764) Strains Isolated from Keratitis Patients	Microb Drug Resist. 2016; 22:589-597.	Original Article
66	Joko T, Shiraishi A, Ogata M, Ohashi Y.	●眼科学	Therapeutic Effect of 0.1% Topical Tacrolimus for Childhood Interstitial Keratitis Refractory to Cyclosporine	J Nippon Med Sch. 2016; 83(1):31-4.	Case Report
67	H Nishida-Fukuda, R Araki, M Shudou, et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Ectodomain Shedding of Lymphatic Vessel Endothelial Hyaluronan Receptor 1 (LYVE-1) Is Induced by Vascular Endothelial Growth Factor	Journal of Biological Chemistry. 291 10490-500.	Original Article
68	Miyake T, Kumagi T, Hirooka M, et al.	●地域生活習慣病・内分泌学	Low alcohol consumption increases the risk of impaired glucose tolerance in patients with non-alcoholic fatty liver disease	J Gastroenterol 51: 1090-100, 2016	Original Article
69	Higuchi Y, Hashiguchi A, Yuan J, et al.	●老年・神経・総合診療内科学	Mutations in MME cause an autosomal-recessive Charcot-Marie-Tooth disease type 2	Ann Neurol 79: 659-672, 2016.	Original Article
70	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Microvascular complications and prevalence of nocturia in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: The Dodo Study	Urology. 93: 147-151, 2016.	Original Article
71	Koh JC, Loo WM, Goh KL, et al.	●地域生活習慣病・内分泌学	Asian consensus on the relationship between obesity and gastrointestinal and liver diseases	J Gastroenterol Hepatol 31: 1405-13, 2016	Original Article
72	Ochi S, Shimizu H, Ueno S.	●精神神経科学	Association between high serum carcinoembryonic antigen and clinical state of male anorexia nervosa: A case report	Int J Eat Disord 49(4) : 428-431, 2016	Case Report
73	Kido T, Mochizuki T, Hirano M, et al.	●放射線医学	Radiation-Dose-Lowering Effects of Landiolol Hydrochloride in Coronary Angiography Using Computed Tomography (DELIGHT) - A Prospective Multicenter Study	Circ J. 2016 Apr; 25; 80(5): 1225-31.	Original Article
74	Nakatsugawa, M., Rahman, MA., Yamashita, Y., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	CD4(+) and CD8(+) TCRβ repertoires possess different potentials to generate extraordinarily	Sci Rep. 6:23821, 2016	Original Article
75	Sakae N, Liu CC, Shinohara M, et al.	●老年・神経・総合診療内科学	ABCA7 deficiency accelerates amyloid- generation and Alzheimer's neuronal pathology	J Neurosci 36: 3849-3859, 2016.	Original Article
76	Hirooka M, Koizumi Y, Imai Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Assessment of a needle-tracking system for bipolar radiofrequency ablation	J Med Ultrason. 43: 185-191, 2016.	Original Article
77	Suzuki T, Yamamoto T, Ohashi Y.	●眼科学	The antibacterial activity of levofloxacin eye drops against staphylococci using an in vitro pharmacokinetic model in the bulbar	J Infect Chemother. 2016 Jun; 22(6):360-5.	Original Article
78	Morimoto A, Shioda Y, Imamura T, et al.	●小児科学	Intensified and prolonged therapy comprising cytarabine, vincristine and prednisolone improves outcome in patients with multisystem Langerhans cell histiocytosis: Results of the Japan Langerhans Cell Histiocytosis Study Group 03	Int J Hematol 104: 99-109	Original Article
79	Ochi H, Fujihara K.	●老年・神経・総合診療内科学	Demyelinating diseases in Asia.	Curr Opin Neurol 29:222-228, 2016.	Review
80	Kawamoto R, Ninomiya D, Kasai Y, et al.	●地域医療学	Serum Uric Acid Is Positively Associated with Handgrip Strength among Japanese Community-Dwelling Elderly Women	PLoS One. 2016; 11: e0151044. [4.411]	Original Article
81	Kazunori Hino, Yoshio Oonishi, Tatsuhiko Kutsuna, et al.	●整形外科	Preoperative varus valgus kinematic pattern throughout flexion persists more strongly after cruciate-retaining than after posterior-stabilized total knee arthroplasty	Knee. 2016 Aug; 23(4):637-41	Original Article
82	Gao W, Higaki T, Eguchi-Ishimae M, et al.	●小児科学	DGCR6 at proximal part of DiGeorge critical region is involved in conotruncal heart defects	Hum Genome Varia 2: 15004.	Original Article
83	Chen, Y., A. Shimotake, R. Matsumoto, et al.	●脳神経外科学	"The 'when' and 'where' of semantic coding in the anterior temporal lobe: Temporal representational similarity analysis of electrocorticogram data "	Cortex 79: 1-13 2016	Original Article
84	Murase R, Sumida T, Kawamura R, et al.	●口腔顎顔面外科学	Suppression of invasion and metastasis in aggressive salivary cancer cells through targeted inhibition of ID1 gene expression	Cancer Lett 377(1):11-16, 2016	Original Article
85	Nishida N, Ohashi J, Khor SS, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Understanding of HLA-conferred susceptibility to chronic hepatitis B infection requires HLA genotyping-based association analysis	Sci Rep. 6:24767, 2016.	Original Article

86	Tanaka H, Fujiwara H, Ochi F, et al.	●産婦人科	Development of engineered T cells expressing a chimeric CD16-CD3ζ receptor to improve the clinical efficacy of mogamulizumab therapy against adult T cell leukemia	Clin Cancer Res 22:4405-4416,2016	Original Article
87	Koizumi M, Kumagi T, Kuroda T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Difficulty in management of intraductal papillary mucinous neoplasm-associated pancreatobiliary fistulas and the role of "pig nose" appearance and	Endosc Int Open. 4: E446-450,2016.	Original Article
88	Yoshida T, Mori T, Shimizu H, et al.	●放射線医学	Neural basis of visual perception and reasoning ability in Alzheimer's disease: correlation between Raven's Colored Progressive Matrices test and 123-LIMP SPECT	Int J Geriatr Psychiatry. 2016. doi: 10.1002/gps.4481. [Epub ahead of print]	Original Article
89	Koga T, Migita K, Sato S, et al.	●解析病理学	Multiple Serum Cytokine Profiling to Identify Combinational Diagnostic Biomarkers in Attacks of Familial Mediterranean Fever	Medicine (Baltimore). 2016; 95:e3449. doi: 10.1097/MD.0000000000003449	Original Article
90	Yagi S, Abe M, Yamashita M, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Carbonic Anhydrase I Epitope Peptide Improves Inflammation in a Murine Model of Inflammatory	Inflamm Bowel Dis. 22: 1835-1846, 2016.	Original Article
91	Gan Y, Wang Y, Tan Z, et al.	●分子病理学	TDRG1 regulates chemosensitivity of seminoma TCam-2 cells to cisplatin via PI3K/Akt/mTOR signaling pathway and mitochondria-mediated apoptotic	Cancer Biol Ther. 17(7):741-750, 2016.	Original Article
92	Kobayashi K, Yano H, Umakoshi A, et al.	●脳神経外科学	A Truncated form of CD200 (CD200S) Expressed on Glioma Cells Prolonged Survival in a Rat Glioma Model by Induction of a Dendritic Cell-Like Phenotype in Tumor-Associated Macrophages	Neoplasia 18 (4):229-241, 2016	Original Article
93	Mukaigawa T, Hayashi R, Hashimoto K, et al.	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Programmed death ligand-1 expression is associated with poor disease free survival in salivary	Journal of Surgical Oncology 114(1):36-43,2016	Original Article
94	Inoue A, Ohnishi T, Kohno S, et al.	●脳神経外科学	Role of Denosumab in Endoscopic Endonasal Treatment for Juvenile Clival Giant Cell Tumor: A Case Report and Review of the	World Neurosurg, July 2016, e1-e6	Case Report
95	Satoshi Murakami,Akihiro Tanaka,Keiko Ido,et al.	●医療薬学	Prolonged effects of miconazole oral gel on warfarin anticoagulation even after treatment withdrawal	International Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics 54(6),474-476(2016)	Original Article
96	Ryuma Haraguchi, Riko Kitazawa, Kiyoshi Mori, et al.	●分子病理学	sFRP4-dependent Wnt signal modulation is critical for bone remodeling during postnatal development and age-related bone	Scientific Repots, 2016 Apr 27; 6:25198. doi: 10.1038/srep25198.	Original Article
97	Kanzaki H, Kataoka M, Nishikawa A, et al.	●放射線医学	Impact of early tumor reduction on outcome differs by histological subtype in stage III non-small-cell lung cancer treated with definitive	Int J Clin Oncol. 2016; 21(5): 853-861.	Original Article
98	Yoshino Y, Kawabe K, Yamazaki K, et al.	●精神神経科学	Elevated TREM2 mRNA expression in leukocytes in schizophrenia but not major depressive disorder	J Neural Transm (Vienna) 123(6) : 637-641, 2016	Original Article
99	Asano E, Okano K, Oshima M, et al.	●肝胆膵・乳腺外科学	Phenotypic characterization and clinical outcome in amullary	J Surg Oncol2016; 114(1):119-127	Original Article
100	Tabara Y, Kohara K, Ochi M, et al.	●老年・神経・総合診療内科学	Association of office-based frailty score with hypertensive end organ damage in the J-SHIPP cross	Int J Cardiol 216: 25-31, 2016.	Original Article
101	Akira Fujii, Katsuji Inoue, Takayuki Nagai, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Clinical Utility of Atrial Electromechanical Conduction Time Measured with Speckle Tracking Echocardiography after Catheter Ablation in Patients with Atrial Fibrillation: A Validation Study with Electroanatomical Mapping	Echocardiography 33(9) : 1317-25, 2016.	Original Article
102	Imai H, J Miyawaki J, Kamada T, et al.	●整形外科	Preoperative Three-Dimensional Planning and Postoperative Evaluation of Total Hip Arthroplasty that Takes Combined Anteversion	European Journal of Orthopedic Surgery and Traumatology 2016 26(5) 493-500	Original Article
103	Shigemura T, Kaneko N, Kobayashi N, et al.	●解析病理学	Novel heterozygous C243Y A20/TNFAIP3 gene mutation is responsible for chronic inflammation in autosomal-dominant Beh et's	RMD Open. 2016; 2:e000223. doi: 10.1136/rmdopen-2015-000223	Original Article
104	Imamura T, Kiyokawa N, Kato M, et al.	●小児科学	Characterization of pediatric Philadelphia-negative B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia with kinase fusions in	Blood Cancer J 6: e419	Original Article

105	Yasui, J., Kawasaki, E., Tanaka, S., et al.	●糖尿病内科学	Clinical and genetic characteristics of non-insulin-requiring glutamic acid decarboxylase (GAD) autoantibody-positive diabetes: A nationwide survey in Japan	PLoS One, 2016; 11: e0155643.	Original Article
106	Kawabe K, Horiuchi F, Ochi M, et al.	●精神神経科学	Internet addiction: Prevalence and relation with mental states in adolescents	Psychiatry Clin Neurosci 70(9) : 405-412, 2016	Original Article
107	Tohyama M,Matsumoto K,Sayama K.	●皮膚科学	Two cases of genital neutrophilic sebaceous adenitis.	J Dermatol. ;43(10): 1221-3, doi: 10.1111/1346-8138.13448. Oct.2016	Case Report
108	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Nocturia and prevalence of erectile dysfunction in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: The Dnoo study	J Diabetes Investig. 7: 786-790,2016.	Original Article
109	Watanabe T, Joko K, Seike H, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Simeprevir with peginterferon/ribavirin for patients with hepatitis C virus genotype 1: high frequency of viral relapse in	Springerplus. 26: 518, 2016.	Original Article
110	Mitani S, Tomioka T, Hayashi R, et al.	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Anatomic Invasive Depth Predicts Delayed Cervical Lymph Node Metastasis of Tongue Squamous Cell Carcinoma	Am J Surg Pathol 40(7):934-42,2016	Original Article
111	Takemori, N., Takemori, A., Tanaka, Y., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	High-throughput production of a stable isotope- labeled peptide library for targeted proteomics using a wheat germ cell-free	Mol Biosyst. 12:2389-2393, 2016	Original Article
112	J Soh,N Okumura,M Nakata,et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Randomized feasibility study of S-1 for adjuvant chemotherapy in completely resected Stage IA non-small-cell lung cancer: results of the Setouchi Lung Cancer Group Study	Japanese Journal of Clinical Oncology,2016Aug; 46(8) 741-747.	Original Article
113	Guo, T., Chamoto, K., Nakatsugawa, M., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Mouse and human CD1d-self-lipid complexes are recognized differently by murine invariant natural killer T cell receptors	PLoS One. 11(5): e0156114, 2016	Original Article
114	Inoue A, Ohnishi T, Kohno S, et al.	●脳神経外科学	A case of multicentric gliomas in both supra- and infratentorial regions with different histology: a	World J Surg Oncol, 26, 14, 1, 152 2016, p277-p281	Case Report
115	Yamasaki T, Horie S, Ohyagi Y, et al.	●老年・神経・総合診療内科学	A potential VEP biomarker for mild cognitive impairment: Evidence from selective visual deficit of higher-level dorsal pathway	J Alzheimers Dis 53: 661-676, 2016.	Original Article
116	Hiraoka A, Michitaka K, Ueki H, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Sarcopenia and two types of presarcopenia in Japanese patients with chronic liver disease.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 28: 940-947,2016.	Original Article
117	Ishii E (2016)	●小児科学	Hemophagocytic Lymphohistiocytosis in Children: Pathogenesis and Treatment	Front Pediatr 4: 47.	Review
118	Kazunori Hino, Tatsuhiko Kutsuna, Yoshio Oonishi, et al.	●整形外科	Assessment of the midflexion rotational laxity in posterior-stabilized total knee arthroplasty.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2016 May 31. [Epub ahead of Intern Med. 55:1453-1458, 2016.	Original Article
119	Kawamura C, Hiraoka A, Toshimori A. et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	A Possible Case of Hepatitis due to Hypereosinophilic Syndrome.	Intern Med. 55:1453-1458, 2016.	Case Report
120	Yokota S, Ueki S, Ono Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Orthotopic mouse liver transplantation to study liver biology and allograft tolerance.	Nat Protoc. 11: 1163-74, 2016.	Review
121	Yoshino Y, Kawabe K, Mori T, et al.	●精神神経科学	Low methylation rates of dopamine receptor D2 gene promoter sites in Japanese schizophrenia subjects.	World J Biol Psychiatry 17(6) : 449-456, 2016	Original Article
122	Casey, NP., Fujiwara, H., Tanimoto, K., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	A functionally superior second-generation vector expressing an aurora kinase-A-specific T-cell receptor for anti-leukaemia adoptive	PLoS One. 11(6):e0156896, 2016	Original Article
123	Hiroshi Kawakami, Takayuki Nagai, Akira Fujii, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Apnea-hypopnea index as a predictor of atrial fibrillation recurrence following initial pulmonary vein isolation: usefulness of type 3 portable monitor for sleep	J Interv Card Electrophysiol 47 : 237?244, 2016.	Original Article
124	Yasuoka T, Kuwahara M, Yamada T, et al.	●産婦人科	The Transcriptional Repressor Gfi1 Plays a Critical Role in the Development of NKT1- and NKT2-	PLoS One. 2016 Jun 10; 11(6):e0157395. doi: 10.1371	Original Article
125	Morimoto A, Nakazawa Y, Ishii E (2016)	●小児科学	Hemophagocytic lymphohistiocytosis: pathogenesis, diagnosis, and management.	Pediatr Int 58: 817-825	Review
126	Tabara Y, Igase M, Miki T, Ohyagi Y, Matsuda F, Kohara K	●老年・神経・総合診療内科学	J-SHIP study group. Orthostatic hypertension as a predisposing factor for masked hypertension: the J-SHIP study	Hypertens Res 39: 664-669, 2016.	Original Article

127	Hamada J, Onum H, Ochi F, et al.	●小児科学	Endoplasmic reticulum stress induced by tunicamycin increases resistin mRNA through the PERK-ATF4-CHOP pathway in THP-1	J Diabetes Invest 7: 312-323	Original Article
128	Eizen Kimura, Miho Nakai, Ken Ishihara.	●救急医学	Evaluation of Efficiency Improvement in Vital Documentation Using RFID Devices	Studies in Health Technology and Informatics. 2016/06-	Case Report
129	Miyake T, Hirooka M, Yoshida O, et al.	●地域生活習慣病・内分泌学	Differences in the risk of fatty liver for onset of impaired fasting glucose according to baseline plasma glucose levels	J Gastroenterol 52: 237-44, 2017	Original Article
130	Ayabe T, Fukami M, Ogata T, et al.	●小児科学	The Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes (JSGIT) (2016) Variants associated with autoimmune Type 1 diabetes in Japanese children: Implications for age-specific effects of insulin regulation	Diabet Med 33: 1717-1722	Original Article
131	Zouwei Pei, Takafumi Okura, Tomoaki Nagao, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Osteopontin deficiency reduces kidney damage from hypercholesterolemia in	Scientific Reports 29: 6; 2016.	Original Article
132	Hiraoka A, Kumada T, Nouse K, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Proposed New Sub-Grouping for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma Using Albumin-Bilirubin Grade	Oncology. 91: 153-161, 2016.	Original Article
133	Shoji H, Yoshio S, Mano Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Interleukin-34 as a fibroblast-derived marker of liver fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver	Sci Rep. 6:28814, 2016.	Original Article
134	Onishi T, Yanagihara Y, Kikugawa T, et al.	●泌尿器科学	Primary adrenal leiomyosarcoma with lymph node metastasis: a case	World J Surg Oncol 14 (1):176-179. 2016	Case Report
135	Inoue T, Hara Y, Kobayashi T, et al.	●眼科学	Corona sign: manifestation of peripheral corneal epithelial edema as a possible marker of the progression of corneal endothelial	Jpn J Ophthalmol. 2016 Sep; 60(5):349-56.	Original Article
136	Jun kuwabara, Yuji Watanabe, You kojima, et al.	●消化管・腫瘍外科学	Successful closure of spontaneous esophageal rupture (Boerhaave's Syndrome) by endoscopic ligation with snare loops	SpringerPlus DOI 10.1186/s40064-016-2624-4	Original Article
137	Kawabe K, Horiuchi F, Ochi M, Oka Y, Ueno S.	●精神神経科学	Suicidal ideation in adolescents and their caregivers: a cross sectional survey in Japan	BMC Psychiatry 11; 16:231, 2016	Original Article
138	Iwasaki T, Kaneko N, Ito Y, Takeda H, et al.	●解析病理学	Nod2-Nodosome in a Cell-Free System: Implications in Pathogenesis and Drug Discovery for Blau Syndrome and Early-Onset	ScientificWorldJournal. 2016;2016:2597376. doi: 10.1155/2016/2597376	Original Article
139	Akiko Tanino, Takafumi Okura, Tomoaki Nagao, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Interleukin-18 deficiency protects against renal interstitial fibrosis in aldosterone-salt treated mice	Clinical Science 2130: 19; 1727-39, 2016.	Original Article
140	Yamazaki K, Yoshino Y, Mori T, et al.	●精神神経科学	Association Study and Meta-Analysis of Polymorphisms, Methylation Profiles, and Peripheral mRNA Expression of the Serotonin Transporter Gene in Patients with	Dement Geriatr Cogn Disord 41(5-6) : 334-347, 2016	Original Article
141	Y Watanabe, E Beeldman, J Raaphorst, et al.	●薬物療法・神経内科学 学術論文目録(2016年)	the ALS-FTD-Q-J Research Group: Japanese version of the ALS-FTD-Questionnaire (ALS-FTD-	Journal of the Neurological Sciences 2016;367:51-55	Original Article
142	Sartelli M, Weber DG, Bassetti M, et al.	●救急医学	Antimicrobials: a global alliance for optimizing their rational use in intra-abdominal infections (AGORA)	World J Emerg Surg. Jul 15; 11: 33. doi:10.1186/s13017-016-	Case Report
143	Koizumi K, Fujioka T, Yasuoka T, et al.	●産婦人科	Clinical investigation of the safety and efficacy of a cervical intraepithelial neoplasia treatment using a hyperthermia device that uses heat induced by alternating	Molecular and clinical oncology. 2016; 5:310-316.	Original Article
144	Daiki Yasunaga, Yuichi Tasaka, Satoshi Murakami, et al.	●医療薬学	Economic contributions of pharmaceutical interventions by pharmacists: a retrospective report in Japan	Journal of Pharmaceutical Policy and Practice (2016) 10:2	Original Article
145	Inano, R., N. Oishi, T. Kunieda, et al.	●脳神経外科学	"Visualization of heterogeneity and regional grading of gliomas by multiple features using magnetic resonance-based clustered	Sci Rep 6: 30344.2016	Original Article
146	Izumi T, Watanabe J, Tohyama T, et al.	●肝胆膵・乳腺外科学	Impact of psoas muscle index on short-term outcome after living donor liver transplantation	Turk J Gastroenterol 2016; 27(4):382-388	Original Article
147	Ohno Y, Kumagi T, Yokota T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Early pancreatic volume reduction on CT predicts relapse in patients with type 1 autoimmune pancreatitis treated with steroids	Orphanet J Rare Dis. 28: 103, 2016.	Original Article

148	Migita K, Izumi Y, Jiuchi Y, et al.	●解析病理学	Familial Mediterranean fever is no longer a rare disease in Japan.	Arthritis Res Ther. 2016; 18:175. doi: 10.1186/s13075-016-1071-	Original Article
149	Miyake T, Matsuura B, Furukawa S, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Hyperthyroidism improves the pathological condition of nonalcoholic steatohepatitis: A case of nonalcoholic steatohepatitis with	Intern Med 55: 2019-2023, 2016.	Case Report
150	Sartelli M, Catena F, Ansaloni L, et al.	●救急医学	WSES Guidelines for the management of acute left sided colonic diverticulitis in the emergency setting. World J Emerg	Jul 29; 11: 37. doi: 10.1186/s13017-016-0095-0.2016.	Case Report
151	Inoue A, Kohno K, Fukumoto S, et al.	●脳神経外科学	Importance of perioperative management for emergency carotid artery stenting within 24h after intravenous thrombolysis for acute ischemic stroke: Case report J J	Int J Surg Case Rep, 26 2016, p108-p112	Case Report
152	Hiraoka A, Hirooka M, Koizumi Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Muscle volume loss as a prognostic marker in hepatocellular carcinoma patients treated with sorafenib.	Hepatol Res. 47: 558-565, 2016.	Original Article
153	M Mogi, K Kohara, H Nakaoka, et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Diabetic mice exhibited a peculiar alteration in body composition with exaggerated ectopic fat deposition after muscle injury due to anomalous cell differentiation	Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 2016; 7:213-223.	Original Article
154	Morino T, Ogata T, Horiuchi H, et al.	●整形外科	Eight years of follow-up after laminectomy of calcium pyrophosphate crystal deposition in the cervical yellow ligament of Coffin-Lowry syndrome patient: a	Medicine 2016 95 e4468	Original Article
155	Onishi Y, Hino K, Watanabe S, et al.	●整形外科	The influence of tibial resection on the PCL in PCL-retaining total knee arthroplasty: A clinical and cadaveric study.	J Orthop Sci. 2016 Nov; 21(6):798-803	Original Article
156	Hirooka M, Ochi H, Hiraoka A, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Multipolar versus monopolar radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma in the caudate lobe: Results of a propensity score analysis	Hepatol Res. 47: 658-667, 2016.	Original Article
157	Kazui H, Yoshiyama K, Kanemoto H, et al.	●精神神経科学	Differences of Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia in Disease Severity in Four Major Dementias	PLoS One 11(8) : e0161092, 2016	Original Article
158	Tanabe Y, Kido T, Kurata A, et al.	●放射線医学	Three-dimensional maximum principal strain using cardiac computed tomography for identification of myocardial	Eur Radiol. 2016 Aug 19. [Epub ahead of print]	Original Article
159	Kurata A, Coenen A, Lubbers MM, et al.	●放射線医学	The effect of blood pressure on non-invasive fractional flow reserve derived from coronary computed tomography angiography	Eur Radiol. 2016 Aug 19. [Epub ahead of print]	Original Article
160	Haruhiko Higashi, Kazuhisa Nishimura, Chiharuko Iio, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Coronary spasm as an exaggerating factor of mitral regurgitation in a patient with dilated-phase hypertrophic cardiomyopathy	Int J Cardiol 223 : 410-411, 2016.	Case Report
161	Mizuno S, Nishigori H, Sugiyama T, et al.	●産婦人科	Association between social capital and the prevalence of gestational diabetes mellitus: An interim report of the Japan Environment and	Japan Environment & Children's Study Group. Diabetes Res Clin Pract 120:132-141 2016	Original Article
162	Shikata F, Okamura T, Higaki T, et al.	●小児科学	Aortic Coarctation 28 Days after an Arterial Switch Operation in a	Tex Heart Inst J 43: 354-356.	Case Report
163	Kagoya, Y., Nakatsugawa, M., Yamashita, Y., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	BET bromodomain inhibition enhances T cell persistence and function in adoptive immunotherapy	J Clin Invest. 126(9):3479-94, 2016	Original Article
164	Fumiyasu Seike, Teruyoshi Uetani, Kazuhisa Nishimura, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Correlation Between Quantitative Angiography-Derived Translesional Pressure and Fractional Flow	Am J Cardiol 118 : 1158-1163, 2016.	Original Article
165	Kido To, Kido Te, Nakamura M, et al.	●放射線医学	Compressed sensing real-time cine cardiovascular magnetic resonance: accurate assessment of left ventricular function in a single-	J Cardiovasc Magn Reson. 2016; 18(1): 50.	Original Article
166	Ozaki S, Kurata M, Kumon Y, et al.	●脳神経外科学	Plasma thrombin-cleaved osteopontin as a potential biomarker of acute atherothrombotic ischemic	Hypertens Res, Epub 2016 Aug 25	Original Article
167	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●地域生活習慣病・内分泌学	Smoking and prevalence of nocturia in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: A post-hoc analysis of the Dingo study	Neurourol Urodyn 2016, doi: 10.1002/nau.23102.	Original Article
168	Yoshino Y, Mori T, Yoshida T, et al.	●精神神経科学	Elevated mRNA Expression and Low Methylation of SNCA in Japanese Alzheimer's Disease	J Alzheimers Dis 54(4) : 1349-1357, 2016	Original Article

169	Eizen Kimura, Koki Hamada, Ryo Kikuchi, et al.	●救急医学	Evaluation of Secure Computation in a Distributed Healthcare Setting.	Studies in Health Technology and Informatics. 2016/08.	Original Article
170	Yukio Kurihara, Haku Ishida, Eizen Kimura, et al.	●救急医学	The inequality of patient profile information in Japanese hospitals.	Studies in Health Technology and Informatics. 2016/08.	Original Article
171	Kuwahara, M., Ise, W., Ochi, M., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Bach2-Batf interactions control Th2-type immune response by regulating the IL-4 amplification loop.	Nat Commun. 7:12596, 2016	Original Article
172	Shiraishi A, Zheng X, Sakane Y, et al.	●眼科学	In vivo confocal microscopic observations of eyes diagnosed with posterior corneal vesicles.	Jpn J Ophthalmol. 2016 Nov;60(6):425-432.	Original Article
173	Akira Fujii, Katsuji Inoue, Takayuki Nagai, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Clinical Significance of Peripheral Endothelial Function for Left Atrial Blood Stagnation in Nonvalvular Atrial Fibrillation Patients With Low-to-Intermediate Stroke Risk.	Circ J 80(10) : 2117-2123, 2016.	Original Article
174	H Nakaoka, M Mogi, J Suzuki, et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Interferon regulatory factor 1 attenuates vascular remodeling; roles of angiotensin II type 2.	Journal of the American Society of Hypertension 811-818.	Original Article
175	Yonenaga Y, Kushihata F, Watanabe J, et al.	●肝胆臓・乳腺外科学	Localized 18F-fluorodeoxyglucose uptake at the pancreatic head during remission phase of autoimmune pancreatitis: a case.	Oncology Letters 2016;12(3):1801-1805	Case Report
176	Zheng X, Yamaguchi M, Kamao T, et al.	●眼科学	Visualization of Tear Clearance Using Anterior Segment Optical Coherence Tomography and Polymethylmethacrylate Particles.	Cornea. 2016 Nov;35:S78-S82.	Original Article
177	Ishida, T., Fujiwara, H., Nosaka, K., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Multicenter phase II study of lenalidomide in relapsed or recurrent adult t-cell leukemia-lymphoma: ATL1-002.	J Clin Oncol. 34(34):4086-4093, 2016	Original Article
178	Poitras JL, Heiser D, Li L, Nguyen B, et al.	●小児科学	Dnmt3a deletion cooperates with the Flt3/ITD mutation to drive leukemogenesis in a murine model.	Oncotarget 7: 69124-69135	Original Article
179	Hino H, Fukuda M, Suzuki Y, Ishii E (2016)	●小児科学	Biphasic cuirass ventilation for treatment of an air leak after pneumothorax in a patient with nemaline myopathy: a case report.	Anesthesia 30: 1087-1090	Case Report
180	Tanaka A, Ma X, Yokosuka O, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Autoimmune liver disease in the Asia-Pacific region-proceeding of APASL symposium on AIH and PBC.	Hepato Int. 10:909-915, 2016.	Review
181	Adnan, E., Matsumoto, T., Ishizaki, J., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Human tolerogenic dendritic cells generated with protein kinase C inhibitor are optimal for functional regulatory T cell induction — A.	Clin Immunol. 173:96-108, 2016	Original Article
182	Ikeda Y, Furukawa S, Sakai T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Age and prevalence of esophageal reflux disease in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: The.	Dig Dis Sci. 61: 3530-3536, 2016.	Original Article
183	Akaike S, Kamoi K, Tezuka M, et al.	●小児科学	Ocular manifestation in Myeloid/NK cell precursor acute leukemia: A case diagnosed by the flow cytometry and PCR from aqueous.	Medicine (Baltimore) 95:e4967	Case Report
184	Yamaguchi M, Sakane Y, Kamao T, et al.	●眼科学	Noninvasive Dry Eye Assessment Using High-Technology Ophthalmic Examination Devices.	Cornea. 2016 Nov;35:S38-S48.	Original Article
185	Kawamura, R., Tabara, Y., Tsukada, A., et al.	●糖尿病内科学	A genome-wide association study of plasma resistin levels identified rs1423096 and rs10401670 as possible functional variants in the Japanese population.	Physiol Genomics 2016; 48: 874-881.	Original Article
186	Funahashi Y, Yoshino Y, Yamazaki K, et al.	●精神神経科学	DNA methylation changes at SNCA intron 1 in patients with dementia with Lewy bodies.	Psychiatry Clin Neurosci 71(1) : 28-35, 2016	Original Article
187	Seike K, Nakazato M, Hanazawa H, et al.	●精神神経科学	A questionnaire survey regarding the support needed by Yogo teachers to take care of students suspected of having eating.	Biopsychosoc Med. 10 : 28, 2016	Original Article
188	Nagai K, Suyama Y, Koga D, Nishi M, Iida C, Tashiro K, Danjo A, Kai K, Matsuo M (2016)	●小児科学	Anaplastic Lymphoma Kinase-Positive Anaplastic Large Cell Lymphoma with Cardiac Metastasis and Arterial Tumor Embolisms during First-Course Chemotherapy.	Case Rep Oncol 9: 440-446.	Case Report
189	Yamanouchi, J., Hato, T., Shiraishi, S., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Vancomycin-induced immune thrombocytopenia proven by the detection of vancomycin-dependent anti-platelet antibody with flow cytometry.	Intern Med. 55(20):3035-3038, 2016	Original Article
190	Fujii C, Kondo T, Ochi H, et al.	●老年・神経・総合診療内科学	Altered T cell phenotypes associated with clinical relapse of multiple sclerosis patients receiving.	Sci Rep 6: 35314, 2016.	Original Article

191	Tabara Y, Igase M, Miki T, Ohyagi Y, et al.	●老年・神経・総合診療内科学	J-SHIPP study group. B-type natriuretic peptide is a determinant of the nocturnal increase in blood pressure independently of arterial hypertension and hypoxia	J Hypertens 34: 2393-2401, 2016.	Original Article
192	Kubo H, Nakataki M, Sumitani S, et al.	●精神神経科学	1H-magnetic resonance spectroscopy study of glutamate-related abnormality in bipolar	J Affect Disord 208: 139-144, 2016	Original Article
193	Wang, T., Lu, Y., Polk, A., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	T-cell receptor signaling activates an ITK/NF- κ B/GATA-3 axis in T-cell lymphomas facilitating resistance to chemotherapy	Clin Cancer Res. 2016 Oct 25. pii: clincanres.1996.2016. [Epub ahead of print]	Original Article
194	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Diabetic peripheral neuropathy and prevalence of erectile dysfunction in Japanese patients aged <65 years with type 2 diabetes mellitus: The Dojo Study	Int J Impot Res. 29: 30-34, 2016.	Original Article
195	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Alcohol consumption and prevalence of erectile dysfunction in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: Baseline data	Alcohol. 55: 17-22, 2016.	Original Article
196	Horie Y, Kitaichi N, Hijioka K, et al.	●地域眼科学	Ocular Behcet's disease is less complicated with allergic disorders. A nationwide survey in Japan	Clin Exp Rheumatol. 2016 Sep-Oct;34:111-114.	Original Article
197	Tanabe Y, Kido T, Kurata A, et al.	●放射線医学	Optimal Scan Time for Single-Phase Myocardial Computed Tomography Perfusion to Detect Myocardial Ischemia - Derivation Cohort From Dynamic Myocardial Computed Tomography Perfusion	Circ J. 2016 Nov; 80(12): 2506-2512.	Original Article
198	Akihiro Tanaka, Akiko Yano, Shinichi Watanabe, et al.	●医療薬学	Impact of switching from intravenous to oral linezolid therapy in Japanese patients: a	Journal of Pharmaceutical Policy and Practice (2016) 9:35	Original Article
199	Yamada T, Kanoh M, Nabe S, et al.	●産婦人科	Menin Plays a Critical Role in the Regulation of the Antigen-Specific CD8+ T Cell Response upon	J Immunol. 2016 Nov 15; 197(10):4079-4089.	Original Article
200	Guo, T., Ochi, T., Nakatsugawa, M., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Generating de novo antigen-specific human T cell receptors by retroviral transduction of centric hemichain	J Vis Exp. 2016 Oct 25;(116), 2016	Original Article
201	Zheng X, Kakizaki H, Goto T, Shiraishi A.	●眼科学	Digital Analysis of Eyelid Features and Eyebrow Position Following CO2 Laser-assisted Blepharoptosis	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2016 Oct 28;4(10)	Original Article
202	Kawamoto R, Ninomiya D, Kasai Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Gender difference in preference of specialty as a career choice among Japanese medical students	BMC Med Educ. 16: 288,2016.	Original Article
203	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●地域生活習慣病・内分泌学	Self-reported sitting time and prevalence of erectile dysfunction in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: The Dojo study	J Diabetes Complications 31: 53-7, 2017	Original Article
204	Matsubara, E., Yamanouchi, J., Kitazawa, R., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Usefulness of low-dose splenic irradiation prior to reduced-intensity conditioning regimen for hematopoietic stem cell transplantation in elderly patients	Case reports in Hematol Article ID 2389038, 2016	Case Report
205	Furukawa S, Sakai T, Niiya T, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Depressive symptoms and prevalence of erectile dysfunction in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: the Dojo Study	Int J Impot Res. 29: 57-60, 2016.	Original Article
206	Kawamoto R, Ninomiya D, Kumagi T.	●地域医療学	Handgrip Strength Is Positively Associated with Mildly Elevated Serum Bilirubin Levels among Community-Dwelling Adults	Tohoku J Exp Med. 2016; 240: 221-226.[1.287]	Original Article
207	Ikegawa W, Suzuki T, Namiguchi K, et al.	●眼科学	Changes in Anterior Segment Morphology of Iris Bombe before and after Laser Peripheral Iridotomy in Patients with Uveitic Secondary Glaucoma	J Ophthalmol.2016 Oct 31.	Original Article
208	Watanabe S, Kuwabara Y, Suehiro S, et al.	●脳神経外科学	Valproic acid reduces hair loss and improves survival in patients receiving temozolomide-based radiation therapy for high-grade	European Journal of Clinical Pharmacology: DOI: 10.1007/s00228-016-2167-1 2016	Original Article
209	Fujiwara, Y., R. Matsumoto, T. Nakae, et al.	●脳神経外科学	"Neural pattern similarity between contra- and ipsilateral movements in high-frequency band of human electrocorticograms."	Neuroimage. 2016	Original Article
210	S Yukumi, H Suzuki, M Morimoto, et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Two Young Women with Left-sided Pneumothorax Due to Thoracic Endometriosis	INTERNAL MEDICINE 2016 55(23):3491-3493 Epub 2016 Dec 1	Case Report

211	Kiyoto S, Sugawara Y, Hosokawa K, et al.	●放射線医学	Predictive ability of 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography for pathological complete response and prognosis after neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer	Asia Oceania J Nucl Med Biol. 2016; 4(1): 3-11.	Original Article
212	Watanabe J, Ito E, Hatano M, et al.	●肝胆膵・乳腺外科学	Recovery after critical illness polyneuropathy in a patient with orthotopic liver transplantation:A case report	Transplant Proc 2016; 48(9):3207-3209	Case Report
213	Kayo Takahashi*, Makoto Saito*, Shinji Inaba*, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Contribution of the long-term care insurance certificate for predicting 1-year all-cause readmission compared with validated risk scores in elderly patients with heart failure	Open Heart 3(2) : e000501, 2016.	Original Article
214	Matsumoto, R., T. Kunieda and D. Nair	●脳神経外科学	Single pulse electrical stimulation to probe functional and pathological connectivity in epilepsy.	Seizure・2016	Case Report
215	Takashi F, Nishigori H, Nishigori T, et al.	●産婦人科	Fermented Food Consumption and Psychological Distress in Pregnant Women: A Nationwide Birth Cohort Study of the Japan Environment and Children's Study	Japan Environment & Children's Study Group. Tohoku J Exp Med 240:309-321,2016	Original Article
216	Casey, NP., Fujiwara, H., Ochi, T., Yasukawa, M.	●血液・免疫・感染症内科学	Novel Immunotherapy for Adult T-cell Leukemia/Lymphoma; Targeting Aurora-A kinase	Oncoimmunology 5(11):e1239006, 2016	Review
217	Merkel, PA., Xie, G., Monach, PA., et al.	●血液・免疫・感染症内科学	Vasculitis clinical research consortium. Identification of functional and expression polymorphisms associated with risk for anti-neutrophil cytoplasmic autoantibody associated vasculitis	Arthritis Rheumatol doi:10.1002/art. 40034, 2016	Original Article
218	Ogawa K, Takada Y	●肝胆膵・乳腺外科学	Living vs. deceased-donor liver transplantation for patients with hepatocellular carcinoma	Transl Gastroenterol Hepatol 2016; 1:35-44	Review
219	Kawamoto R, Ninomiya D, Kasai Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Factors associated with the choice of general medicine as a career among Japanese medical students	Med Educ Online. 21: 29448,2016.	Original Article
220	Imai Y, Hirooka M, Koizumi Y, et al.	●消化器・内分泌・代謝内科学	Histological assessment of the efficacy of drug-eluting beads in portal tumor thrombosis of	Radiol Case Rep. 12:179-184, 2016.	Case Report
221	Moore HB, Winfield RD, Aibiki M, Neal MD.	●救急医学	"Is Coagulopathy an Appropriate Therapeutic Target During Critical Illness Such as Trauma or Sepsis?"	Shock, 2016, [Epub ahead of print] PMID: 28234791.	Case Report
222	Backes D, Rinkel GJ, Greving JP, et al.	●脳神経外科学	The ELAPSS score for prediction of risk of growth of unruptured intracranial aneurysms.	Neurology (in press)	Original Article
223	Hiroshi Kawakami, Takayuki Nagai, Taka-aki Matsuyama, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Benefit of magnetic resonance-conditional cardiac resynchronization therapy defibrillator: a case of cardiac sarcoidosis involved conical	Heart Rhythm Case Reports 2 : 88?91, 2016.	Case Report
224	Tanino Akiko, Takafumi Okura, Tomoaki Nagao, et al.	●循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	A case of acquired lecithin:cholesterol acyltransferase deficiency with sarcoidosis that	CEN Case Reports 25: 2; 192-196, 2016.	Case Report
225	XL Wang, J Iwanami, LJ Min, et al.	●心臓血管・呼吸器外科学	Deficiency of angiotensin converting enzyme 2 causes deterioration of cognitive function.	Npj Aging and Mechanisms of Disease(2016)2,16024.	Original Article
~					

計225件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	真田朋昌、清水義貴、西原江里子、他	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	声門に病変を生じたRosai-Dorfman病の1例	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 88(1):67-70, 2016	Original Article
2	上甲智規、上田哲平、菟淵勇人、他	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小児に発症したアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎(allergic fungal rhinosinusitis)の1例	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 88(9):699-703, 2016	Original Article
3	高木大樹、西田直哉、羽藤直人	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Volume rendering imageを用いた内視鏡下副鼻腔手術トレーニングの有効性	日本鼻科学会誌 55(2), 129-133, 2016	Original Article
4	小川日出夫、高木大樹、寺岡正人、他	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	愛媛県における小児難聴の発見と療育の現状	愛媛医学 35(4):182-187, 2016	Original Article
5	田中加緒里、西田直哉、山田啓之、他	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	高齢者の嚥下障害と最新の嚥下機能評価法	愛媛医学 35(4):159-166, 2016	Original Article
6	濱本 泰、鶴久森徹、田口千蔵	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	診療 頭頸部扁平上皮癌への術後照射の経験	臨床放射線 61(2):353-358, 2016	Original Article
7	佐藤紀代子、高橋信雄、羽藤直人	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	人工内耳装用児の実態と両耳手術に関する検討 - 母親へのアンケート調査から -	Audiology Japan 59(1):42-49, 2016	Original Article
8	羽藤直人、村上信五	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	顔面神経麻痺の評価up-to-date	FACIAL NERVE RESEARCH JAPAN 36:9-10, 2016	Original Article
9	松原悦子、山之内純、羽藤高明、他	●血液・免疫・感染症内科学	再発時にrituximabが著効した高齢者の血栓性血小板減少性紫斑病	臨床血液 57(7):869-872, 2016	Case report
10	松本卓也、石崎 淳、大西佐知子、他	●血液・免疫・感染症内科学	全身播種型非結核性抗酸菌症を発症した全身性エリテマトーデスの1例	内科 117: 337-340, 2016	Case report
11	横本祐希、大西佐知子、石崎 淳、他	●血液・免疫・感染症内科学	TNF阻害薬投与中に掌蹠膿疱症が出現し、SAPHO症候群と診断した関節炎の1例	内科 118: 837-839, 2016	Case report
12	岡本健太郎、福田光成 (2016)	●小児科学	小児神経専門医へのインターネット上のアクセシビリティに関する調査.	脳と発達 48: 290-291	Original Article
13	西村幸士 楠目和代 加賀田優紀 (2016)	●小児科学	小児蕁麻疹患者の凝固機能についての検討.	アレルギー 65: 118-122	Original Article
14	元木崇裕、中川栄二、小一原玲子、他	●小児科学	免疫グロブリン治療が奏功したてんかん性脳症例.	脳と発達 48: 277-281.	Case report
15	河邊憲太郎、堀内史枝、越智麻里奈、他	●精神神経科学	中学生におけるインターネット依存と睡眠習慣との関連.	不眠研究 2016 : 41-45, 2016	Original Article
16	河邊憲太郎、松本 寛、多田敦博、他	●精神神経科学	単科精神科病院における慢性期統合失調症の認知機能評価	最新精神医学 21(4) : 315-321, 2016	Original Article
17	松本美希、河邊憲太郎、近藤静香、他	●精神神経科学	自閉スペクトラム症の注意機能評価 Cog Health Batteryを用いて.	児童青年精神医学とその近接領域 57(4) : 445, 2016	Original Article
18	草川均、春田直樹、新原亮、他	●心臓血管・呼吸器外科学	日本における内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術の変遷と治療成績 内視鏡下静脈疾患治療研究会での14施設のデータから	日血外会誌25巻 173	Original Article
19	阪下裕司、八杉 巧、泉谷裕則	●心臓血管・呼吸器外科学	高安静脈炎による大動脈弁閉鎖不全症に対して自己体温大動脈基部置換術を施行した2例	血管外科 第35巻第1号 2016別刷 90-94	Original Article
20	泉谷裕則	●心臓血管・呼吸器外科学	透析患者の心臓弁膜症治療	医工学治療 Vol28.No1 8-13	Original Article

21	阪下裕司、泉谷裕則	●心臓血管・呼吸器外科学	胸骨正中切開後の胸骨固定における Super FIXSORB MX40の使用法	心臓Vol48.No7 730-734	Original Article
22	山田啓之、船矢美里、羽藤直人	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	新柳原法(新40点法)	FACIAL NERVE RESEARCH JAPAN 36:22-24, 2016	Original Article
23	船矢美里、山田啓之、羽藤直人	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	顔面神経麻痺患者のQOL-FaCE Scaleと各因子について	FACIAL NERVE RESEARCH JAPAN 36:45-47, 2016	Original Article
24	本多伸光、西原江里子、中村光士郎	●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	顔面神経麻痺を発症したANCA関連血管炎の2例	FACIAL NERVE RESEARCH JAPAN 36:179-181, 2016	Original Article
25	今井 浩 宮脇城二 鎌田知美, 他	●整形外科	偏心性寛骨臼回転骨切り術後の大腿骨頭中心と跛行との関連性	Hip Joint 2016 42 246-250	Original Article
26	藤淵剛次、宮脇城二、木谷彰岐, 他	●整形外科	当院における単発性骨嚢腫の治療成績	日本小児整形外科学会雑誌 2016 25号2巻 264-268	Original Article
27	野田輝乙、宮内勇貴、大西智也, 他	●泌尿器科学	当院における先行的腎移植症例の検討	西日本泌尿器科 78 (10)499-502 2016	Original Article
28	柳原 豊、白戸玲臣、大西智也, 他	●泌尿器科学	高リスク筋層非浸潤性膀胱癌に対するhalf-dose BCG維持療法の試み	西日本泌尿器科 78 (11)551-555 2016	Original Article
29	宮内勇貴、沢田雄一郎、野田輝乙, 他	●泌尿器科学	Y字大伏在静脈グラフトを移植腎静脈延伸のために使用した生体腎移植の1例	日本臨床腎移植学会雑誌 4 (1)130-133 2016	Case report
30	三浦徳宣、大西智也、角田俊雄, 他	●泌尿器科学	去勢抵抗性前立腺がんに対するカバジタキセルの初期治療経験	泌尿器外科 29(8)1311-1314 2016	Case report
31	濱本 泰、鶴久森徹、田口千蔵, 他	●放射線医学	頭頸部扁平上皮癌への術後照射の経験	臨床放射線 61: 353-358, 2016.	Original Article
32	鎌尾知行、白石 敦、高橋直巳, 他	●眼科学	涙管閉塞に対する涙道内視鏡下涙管チューブ挿入術の治療成績と術前培養菌種の検討	臨床眼科70(9):1413-1418, 2016.	Original Article
33	高橋直巳、鎌尾知行、白石 敦, 他	●眼科学	涙管チューブ挿入術の術後成績と抜去時涙管チューブ培養菌種の検討(原著論文)	眼科手術29(2):323-327, 2016.	Original Article
34	合田啓之、中城公一、日野聡史, 他	●歯科口腔外科学	口腔癌におけるセンチネルリンパ節生検の現状と課題	日本口腔腫瘍学会誌 28(3):71-15, 2016	Original Article
35	廣岡昌史、小泉洋平、平岡 淳, 他	●消化器・内分泌・代謝内科学	より汎用化し多様化する超音波診療の最前線	愛媛医学 35: 1-5, 2016.	Original Article
36	平岡 淳、熊田 卓、糸 林詠, 他	●消化器・内分泌・代謝内科学	新しい肝予備能評価・albumin-bilirubin(ALBI)-gradeを用いた肝癌ラジオ波治療における予後予測 JISスコア変法・ALBI-Tスコアの有用性	肝臓 50:312-319, 2016.	Original Article
37	新谷哲司、河本絵里子、塩見亮人, 他	●消化器・内分泌・代謝内科学	シタグリプチンが肥満合併2型糖尿病患者の食行動に及ぼす影響	肥満研究 22: 213-218, 2016.	Original Article
38	古賀繁宏、大嶋佑介、山田耕治, 他	●消化管・腫瘍外科学	光イメージング技術の外科領域への応用	愛媛医学 Vol.35 No.2 62 ~67 2016.6.1	Original Article
39	久門良明、松本 調、大西丘倫, 他	●脳神経外科学	愛媛県中予地区の脳卒中地域医療連携の現状と課題	愛媛医学35(2):86-93, 2016	Original Article
40	久門良明、渡邊英昭、田川雅彦, 他	●脳神経外科学	頸動脈狭窄症に対する血行再建術前の脳血流および脳血管反応性の評価の意義	脳循環代謝 27(2):225-233, 2016	Original Article
41	山下大介、末廣 諭、高野昌平, 他	●脳神経外科学	グリオーマ幹細胞特異的microRNAの同定と診断・治療への応用における意義	愛媛医学35(1):6-11, 2016	Original Article

42	木村 映善, 松村 泰志, 三原 直樹, et al.	●救急医学	秘密分散技術を利用した医療情報の遠隔保存と参照環境の評価.	電子情報通信学会論文誌 D.2016 2016/05/01; J99-D(5):526-38.	Original Article
43	渡邊 英伸, 黒澤 隆, 木村 映善, 他	●救急医学	広域分散ファイルシステムにおける UDT マルチストリームファイル転送ツール.	電子情報通信学会論文誌 D. 2016 2016/05/02; J99-D: 514-25.	Original Article
44	木村 映善, 石原 謙.	●救急医学	Arden Syntax と FHIR を利用した臨床判断支援ロジック記述環境の開発の試み.	医療情報学 2016 2016/03; 35(6):283-96.	Original Article
45	都築美穂, 田中 守, 加戸佳己, 他	●医療薬学	薬・薬連携強化を目指した情報共有ツールの検討～おくすり手帳とおくすり伝言板の試み～	日病薬誌 52, 273-276 (2016)	Original Article
46	井門敬子, 木村博史, 大島幹弘, 他	●医療薬学	愛媛県における医療従事者の HIV 感染予防薬供給体制の評価	愛媛県病薬会誌 118, 5-9 (2016)	Original Article
47	水野 桂, 夏原淳次, 永塚雅裕, 他	●医療薬学	愛媛県内の療養病床を有する施設に関するアンケート調査の報告	愛媛県病薬会誌 118, 11-16 (2016)	Original Article
48	梅田賢太, 荒木博陽	●医療薬学	向精神薬の有効性をより大きく引き出す ～薬剤師の存在価値～	愛媛県病薬会誌 118, 27-30 (2016)	Original Article
49	河添 仁, 矢野安樹子, 田坂祐一, 他	●医療薬学	外来化学療法におけるがん患者指導管理料3の臨床的アウトカムと医療経済効果の推算	医療薬学 42, 228-236 (2016)	Original Article
50	河添 仁, 中内香菜, 矢野安樹子, 他	●医療薬学	外来患者におけるハザードス・ドラッグ調製から投与管理までの閉鎖式薬物移送システム導入の臨床的アウトカムと医療経済効果の推算	医療薬学 42, 518-528 (2016)	Original Article
51	大島幹弘, 田中 守, 飛鷹範明, 他	●医療薬学	調剤業務における賦形剤の使用状況調査	日病薬誌 52, 1029-1033 (2016)	Original Article
52	秋山伸二, 田中 守, 高取真吾, 他	●医療薬学	会員レター 薬剤師のためのフィジカルアセスメント研修会の実施と評価	日本薬剤師会雑誌 68, 1149-1151 (2016)	Original Article
53	伊賀久美, 飛鷹範明, 荒木博陽	●医療薬学	愛媛大学医学部附属病院薬剤部における病棟薬剤業務支援システムの有用性について	医薬ジャーナル 52, 149-155 (2016)	Original Article
54	沖野真季, 越智理香, 内外科 健, 他	●医療薬学	調剤業務におけるインシデントの分析およびその対策と検討	愛媛県病薬会誌 120, 5-9 (2016)	Original Article
55	渡邊真一, 田中亮裕, 荒木博陽	●医療薬学	薬剤部での取り組み:放射線性口腔粘膜炎治療におけるHDAC阻害薬の可能性～ドラッグ・リポジショニングの観点から～	愛媛医学 35, 153-158 (2016)	Original Article
56	佐々木優, 河添 仁, 村上 聡, 他	●医療薬学	アプレピタント併用によりデキサメタソンの前投与を減量時にパクリタキセルの過敏症反応が生じた1例	日本臨床腫瘍薬学会雑誌 5, 19-22 (2016)	Original Article
57	久門良明, 松本 調, 大西丘倫, 他	●地域医療再生学	愛媛県中予地区の脳卒中地域医療連携の現状と課題	愛媛医学 35(2):86-93, 2016	Original Article
58	久門良明, 渡邊英昭, 田川雅彦, 他	●地域医療再生学	頸動脈狭窄症に対する血行再建術前の脳血流および脳血管反応性の評価の意義	脳循環代謝 27(2):225-233, 2016	Original Article
59	今井 浩, 宮脇 城二, 白石 善孝, 他	●地域医療再生学	偏心性寛骨臼回転骨切り術後の大腿骨頭中心の移動と術後早期跛行改善との関連性	Hip Joint (0389-3634)42巻 1号 Page246-250(2016.08)	Original Article
60	西村幸士 楠目和代 加賀田優紀	●地域救急医療学講座	小児麻痺患者の凝固機能についての検討	アレルギー (2016) 第65巻2号 118-122	Original Article
61	桑原 優 楠目和代	●地域救急医療学講座	NA-623NIにおける呼気一酸化窒素濃度オンライン測定とオフライン測定と比較とオフライン測定の時間的安定性に関する検討	日本小児呼吸器学会雑誌 第27巻 第2号 (in press)	Original Article

計61件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 病院長の責務、研究者等の責務、倫理審査委員会の設置、個人情報等、重篤な有害事象への対応に関する手順、研究の信頼性確保、研究実施に関する窓口	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反管理の対象、利益相反委員会、利益相反相談室、自己申告書の提出等の手続き	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 自主臨床研究におけるモニタリング担当者研修会、臨床研究と個人情報保護法、臨床研究法案について	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

第一内科 【血液内科】 【膠原病・リウマチ内科】 【感染症内科】

第一内科の専門領域は、血液、膠原病・リウマチ、感染症である。カンファレンスやセミナーを頻回に開催し、内科学会総合内科専門医、血液学会専門医、リウマチ学会専門医、感染症学会専門医を取得できるように、研修・指導を行っている。また、最近社会的ニーズが非常に高い臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の育成にも努力している。

第二内科 【循環器内科】 【呼吸器内科】 【腎臓内科】

当科に所属する日本内科学会総合内科専門医、日本循環学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本腎臓専門医、日本老年病専門医、日本臨床遺伝専門医、日本アレルギー学会専門医、日本不整脈学会専門医、日本高血圧学会専門医が血管機能解析、腎生検、血液浄化療法、肺癌化学療法、経気管支鏡的肺生検・吸引針生検、冠動脈形成術、心臓再同期療法、心筋焼灼療法等の高度医療を指導し、専門医の育成を行った。

第三内科 【消化器内科】 【肝臓内科】 【内分泌代謝内科】

この領域は、第三内科が研修を担当する。消化器病として消化管・肝・胆・膵領域、甲状腺・副腎皮質などの内分泌領域、糖尿病をはじめとする糖代謝、脂質代謝、尿酸代謝、金属代謝などの代謝領域、および栄養学の研修を指導した。研修では各々の領域の患者に対して先端的な診療、検査に触れるとともに、カンファレンスを通して理解を深め、目標を持ち自律的意欲的に研修、習得する医師の養成を目指している。当科のスタッフは日本内科学会指導医、日本消化器病学会指導医、日本肝臓学会指導医、日本超音波学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本糖尿病学会指導医、日本内分泌学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本病態栄養学会専門医、NST稼働施設責任者等の各種指導資格を有しており、各領域の専門研修による専門医の育成とともに、内科を幅広く柔軟に診療できる内科医の育成を目指して研修・指導を行っている。

【老年・神経内科】

神経内科、老年病、脳卒中、認知症などの専門医が、神経疾患、脳卒中や認知症の診療を教育した。入院診療では、免疫性神経疾患や変性疾患などを主体として、神経学的診察、末梢神経・中枢神経の電気生理検査、針筋電図や超音波検査(頸部血管、経頭蓋、経食道)などの専門手技の研修を行った。また、認知症診療では、愛媛県認知症疾患医療センターやもの忘れ外来診療を中心に、薬物治療や介護保険の利用法、その他の社会支援制度利用や生活指導の方法などの教育を行った。

糖尿病内科・臨床検査医学【糖尿病内科】

糖尿病専門医・指導医、内科専門医・指導医による専門的かつ総合的な研修を実施した。具体的には、1型糖尿病の診断・管理、急性代謝異常の診断・管理、2型糖尿病の診断・管理、その他特定の型(2次性)糖尿病の診断・管理、糖尿病合併妊娠及び妊娠糖尿病の診断・管理、周術期の血糖管理、持続皮下インスリン注入療法(CSII)を用いた血糖管理、持続血糖測定(CGM)を用いた血糖管理、ならびに糖尿病合併症の診断・治療・管理・予防教育を行った。

【薬物療法・神経内科】

脳神経疾患の診断・治療・教育研修とともに、特に難治性神経疾患の治療薬の研究・開発・研修を行った。また、臨床研究に必要な手法の研究開発と基盤整備、および法務上必要な研修、指導を行った。研修後に総合内科専門医、神経内科専門医、認知症専門医、頭痛専門医、臨床薬理専門医を取得している。

【精神科】

大学病院及び関連病院にて研修を行っている。後期研修以降は、それぞれのサブスペシャリティを決定し、その分野で研鑽をつみ、精神科医としての技能や知識を習得する。また、下記の項目にも重点をおく。

1. 児童思春期、青年期、老年期のそれぞれの年代の症例、また器質性、機能性、反応性の各精神障害の症例すべての臨床経験を獲得するよう主治医としてかかわる。
2. 臨床研究として、学会発表を行う。
3. 国内・国際学会、教室内外の勉強会に参加する。
4. クロザピン投与、修正型電気けいれん療法、光トポグラフィーなど極めて専門性の高い検査・治療に携わる。

また、臨床経験5年後には、精神保健指定医を取得し、日本精神神経学会専門医の獲得ができるよう環境を整えている。

【小児科】

後期研修1年目より専門医の取得を目指し小児の各分野の高度医療を実践する。特に新生児の管理・治療、小児がんの造血細胞移植などの高度医療、循環器疾患のインターベンション治療を含めた高度医療、難治性神経疾患の治療、遺伝性疾患の遺伝カウンセリングなどの他、感染症、内分泌・代謝、アレルギー、腎、膠原病などの幅広い小児科の分野の研修を行っている。また研修期間中は予防接種、健診などの予防医療についても研修を行っている。

【消化器腫瘍外科】

消化器（主に消化管）癌に対する外科的治療（開腹、内視鏡、ロボット支援手術）を系統的に学び、更に化学療法、放射線治療などの集学的治療による治療戦略を学ぶことができる臨床研修を行う。外科専門医のみならず内視鏡外科技術認定医を目指した高度な手術技術を指導する。ドライラボ、アニマルラボ、シミュレータ、カダバーによる習熟度に応じた手術指導も定期的開催し、スキルアップを図る体制を用意している。

【肝胆膵・移植外科】

肝臓、胆のう、膵臓疾患について、画像診断から治療方針の決定、外科治療など消化器外科専門医並びに消化器病専門医及び肝胆膵外科高度専門医を取得できるように、研修、指導を行った。

【心臓血管・呼吸器外科】

- 1 心臓血管外科におきましては、外科専門医、心臓血管外科専門医の資格の取得に必要な、経験、技術、知識、人間性を習得することを目標としています。将来、専門医として社会貢献できる医師を目指す研修を行った。
- 2 呼吸器外科におきましては、外科専門医、呼吸器外科専門医の取得が可能です。呼吸器外科疾患の適切な診断能力と治療方針はもちろん、呼吸器センターの一員として、あらゆる状況において応用可能な能力を身につける研修を行った。

【脳神経外科】

日本脳神経外科学会研修プログラムに則って、研修指導医の下で、脳神経外科の診断と治療に必要な知識と基本的技術を習得させるため、基本診療科の一つとして、愛媛大学と関連連携施設で研修をすすめる。当施設では脳卒中センター、脊椎センター、手術手技研修センターにおいて、脳卒中の急性期治療（脳血管内治療を含む）、脊椎・脊髄疾患の診療、手術に必要な微小解剖のトレーニングを中心としている。脳腫瘍・脳血管疾患、脊椎、脊髄の主要な疾患の他に、小児脳神経外科、機能神経外科、感染症などの田崎な疾患群全てを研修可能である。それによって、脳神経外科専門医取得にあたっての、十分な臨床経験を積める環境が整っている。

【整形外科】

運動器疾患全般に関して、科学的知識と高い社会的倫理観を備えた医師を養成すべく、進歩す

る医学知識と最新の医療技術を研鑽させた。特に以下の3点に重点を置いた教育を行った。

- 1, 高齢者のQOLを支える医療
- 2, エビデンスに基づく幅広い治療方針
- 3, 水準の高い治療で早期の社会復帰をサポート

さらに、整形外科専門医習得に必要な臨床症例の経験と論文作成・学術発表の指導も行った。

皮膚科、形成外科 【皮膚科】 【形成外科】

皮膚科学会、形成外科学会の研修施設認定を受けている。

皮膚科では湿疹や感染症などの日常的疾患から、皮膚がん、自己免疫性疾患、重症薬疹、先天性疾患などの希少疾患までを対象とした総括的かつ専門性の高い研修を行っている。必要研修期間終了時には専門医の取得が可能である。

形成外科では小児の先天性疾患からマイクロサージャリーによる再建手術まで、広範囲かつ高度な専門的な技術を習得できる研修を行っている。いずれも必要研修期間終了時には専門医の取得が可能であり、その後さらに皮膚腫瘍外科専門医、レーザー専門医、頭蓋顎顔面外科専門医などの取得も可能である。

【泌尿器科】

副腎、尿路、男性生殖器の診断、治療に関する研修を行います。効率的に泌尿器科医としての研修を受け、10年間の研修を修了すれば、泌尿器科医として独り立ちできるように県下基幹病院と協力して独自の研修システムを整備しています。その中で当科では、腎や副腎、膀胱などの鏡視下手術、ロボットを用いた前立腺手術、各種開腹手術、尿路結石や膀胱癌に対しての内視鏡的手術、婦人科泌尿器科手術、慢性腎不全に導入から腎移植までの研修を行っています。また、尿路上皮癌や前立腺癌に対する抗癌化学療法や放射線治療なども、全国的にもリーダー的存在で、専門性の高い研修を行っています。

【眼科】

日本眼科学会の研修プログラム基幹研修施設として眼科指導医のもとで、眼科学の進歩に応じて、眼科医の知識と医療技術を高め、すぐれた眼科医を養成するための指導を行った。研修プログラムでは、外来患者および年間1000例以上の手術症例を中心に、眼科一般の診断と治療に必要な知識と基本的技術を取得させる内容となっている。また、高度な医療技術、特に難易度の高い手術のための知識やその実行には、頭頸部のより高度な解剖学的知識が要求されるため、御遺体を用いて以下の涙道手術手技研修を行っている。

【耳鼻咽喉科】

日本耳鼻咽喉科学会の研修施設認定を受けており、耳鼻咽喉科学ならびにその関連領域における医学の進歩に応じて、耳鼻咽喉科医の知識と医療技術を高め、すぐれた耳鼻咽喉科医の養成を図った。研修プログラムには、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部の各領域における十分な専門性を有する指導医をおき、年間500例以上の手術症例を中心に研修を行った。人工内耳などの最先端耳鼻咽喉科医療の指導体制も充実している。

放射線科 【放射線診断分野】 【放射線治療分野】

1. 診断専門医は、画像診断（X線、CT、MRI、超音波等）、核医学、インターベンションラジオロジー（IVR）の専門的知識と診療技術を習得し、この知識と技術に基づいた検査の選択・指示・実施・管理等が出来るようにする。
2. 放射線治療専門医は、悪性腫瘍および一部の良性疾患に関して、放射線治療の効果、照射術式とその計画、有害事象、治療前中後の管理などについての専門知識と診療技術を駆使した適正な放射線治療が行えるようにする。

産婦人科 【周産期医学分野】 【婦人科腫瘍分野】 【女性医学分野】 【生殖医療分野】

日本産科婦人科学会専門医指導医のもと、上記4領域において患者を担当する医療者チームの一

員として診断・治療に携わる。4領域に関する研修ガイドラインに基づいて臨床に必要な基本知識・産婦人科疾患に対する検査・診断・治療を以下の項目を目標に修得する。

1. 周産期医学分野：母体合併症妊娠における母児の問題点および管理法、超音波検査を用いた胎児の推定体重や血流測定を含めた胎児の元気度の評価や構造異常の評価に関して修得する。分娩管理については、分娩進行の評価につき研修し、分娩介助および帝王切開の適応・手技についても修得する。
2. 婦人科腫瘍分野：婦人科疾患における超音波検査・CT検査・MRIなどの画像診断を用いた診断学の修得を行う。内診による腫瘍の進展度の評価やコルポスコーピーによる子宮頸部病変の評価について研修する。開腹術・腹腔鏡下の婦人科手術手技を理解し、基本的手技および周術期管理の実際について修得する。
3. 女性医学分野：女性の内分泌疾患に対する診断・管理やホルモン補充療法、更年期障害に対するアプローチについて研修する。
4. 生殖医療分野：不妊症の検査・診断および生殖補助技術*以外の排卵誘発法やタイミング法などの基本的な治療について研修する。（*：生殖補助技術については、他施設において研修する。）

【麻酔科蘇生科】

臨床の現場において、手術における全身麻酔や区域麻酔，集中治療管理，痛みの治療の研修指導を行い，さらに下記の研修を通して，より高度な医療技術を身につけるよう指導した。

1. 高機能シミュレータを用いた全身麻酔手技の習得
2. 危機的状況を想定したシナリオトレーニング
3. 緩和ケア医療の研修

リハビリテーション部 【リハビリテーション科】

日本リハビリテーション医学会専門医の指導の下、以下の項目を目標とした教育プログラムを行った。

- 1) 診断学：リハビリテーションを行う上で必要な、各種画像検査・電気生理学的検査・病理診断・超音波検査などを、評価・施行できる。運動障害や高次脳機能障害だけでなく、嚥下障害、心肺機能障害、排泄障害の評価といった、関連領域も評価ができる。
- 2) 治療：全身状態の管理ができる。障害評価に基づく治療計画が立てられる。各種リハビリテーション（理学療法・作業療法など）に加え、義肢装具の処方・ブロック療法・薬物治療・生活指導などができる。

【救急科】

専攻医には、以下の3つの学習方法で専門研修を行います。

- 1 臨床現場での学習：経験豊富な指導医が中心となり救急科専門医や他領域の専門医とも協働して、専攻医に広く臨床現場での学習を提供します。
 - 1) 救急診療や手術での実地修練(on-the-job training)
 - 2) 診療科におけるカンファレンスおよび関連診療科との合同カンファレンス
 - 3) 抄読会・勉強会への参加
 - 4) 臨床現場でのシミュレーションシステムを利用した、知識・技能の習得
- 2 臨床現場を離れた学習：国内外の標準的治療および先進的・研究的治療を学習するために、救急医学に関連する学術集会、セミナー、講演会および JATEC、JPTEC、ICLS コースなどの off-the-job training course に積極的に参加します。救命処置法の習得のみならず、インストラクターコースへ参加できるように配慮し、その指導法を学びます。また、研修施設もしくは日本救急医学会等が開催する認定された法制・倫理・安全に関する講習にそれぞれ少なくとも1回は参加します。
- 3 自己学習 専門研修期間中の疾患や病態の経験値の不足を補うために、日本救急医学会等が準

備する「救急診療指針」、e-Learning などを活用した学習を病院内や自宅で利用できる機会を提供します。 研修プログラムの実際と特徴 本研修プログラムは、各専攻医の希望を考慮し、個々の基本モジュールの内容を吟味した上で、基幹施設・連携施設のいずれの施設からの開始に対しても対応できるように設計された研修コースです。本研修プログラムによる救急科専門医取得後には、集中治療、外傷、熱傷などの救急科関連領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動を選択することが可能です。プログラム期間中に当大学病院等で研修を行いながら愛媛大学大学院医学系研究科への社会人大学院進学を認めています。また本研修プログラム管理委員会は、基幹研修施設である愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センターと協力し、大学卒業後 2 年以内の初期研修医の希望に応じて、将来、救急科を目指すための救急医療に重点を置いた初期研修プログラム作成にもかかわっています。

【歯科口腔外科】

外来における初診患者の問診、初診診察、診断、治療の口腔外科疾患一連の流れ、および手術手技難易度分類の中等度までにおける外来外科処置の執刀および術後のfollowを行った。

また、病棟においては入院から退院までの口腔癌、顎変形症、炎症、外傷、嚢胞性疾患患者等の患者管理および中等度相当までの執刀を指導医の元、経験した。臨床外に関しては、口腔外科関連論文の抄読会を担当し、学術的理解にも励んだ。

【病理科】

病理専門医は、病理学総論と諸臓器の疾患に関する病理学的知見に基づいて、医療の根幹である病理診断（病理解剖、手術・生検標本診断、細胞診）を行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保し、高度先進医療、地域医療の推進に寄与する。本院では、「患者に学び患者に還元する医療」の姿勢で、医療倫理、医療安全を実施し、社会的ニーズに応じた病理専門医を育成する。病理専門研修では、日本病理学会の「専門研修手帳」に記された基準を満たすよう、知識・技能・態度の指導を行う。病理解剖については、視聴覚教材とマンツーマン指導による手技の修得・肉眼所見と病理組織標本検鏡・診断書作成、全例CPCを行う。手術・生検標本の診断と細胞診断は、業務マニュアルによる切り出し手技や報告書作成の標準化と、指導医によるマンツーマン指導・全例検閲を行う。臨床科との症例検討会での発表討論を日常的に行い、愛媛県病理研究会、中四国支部会、日本病理学会総会での症例報告を指導する。基礎の病理学講座との連携のもとに、分子病理学的研究手法の研鑽を奨励する。病理診断学の修練のみならず、専門医取得後のキャリア形成に留意し、後進の指導にあたる人材育成を目指す。

睡眠医療センター 【睡眠医療】

睡眠障害の診断・治療について、専門的研修を実施する。日本睡眠学会認定医療機関であり、年間200例以上の終夜睡眠ポリグラフィ実施を基盤とした睡眠障害の生理学的診断法、ならびに睡眠覚醒メカニズムに即した治療手法について、学会認定医が研修を担当する。国際学会での発表、論文指導も行う。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	176人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
安川 正貴	第一内科	教授	40年	内科・感染症
長谷川 均	第一内科	特任教授、診療科長	38年	膠原病・リウマチ
羽藤 高明	輸血・細胞治療部	特任教授、輸血・細胞治療部長	37年	血液
薬師神 芳洋	腫瘍センター	教授、腫瘍センター長	29年	腫瘍内科
東 太地	造血細胞移植センター	講師、造血細胞移植センター長	23年	血液・造血細胞移植
大蔵 隆文	腎臓内科	特任教授	31年	
池田 俊太郎	循環器内科	准教授	25年	
檜垣 實男	呼吸器内科	教授	39年	循環器・呼吸器・高血圧内科学
日浅 陽一	第三内科	教授	27年	消化器・内分泌・代謝内科学
大八木 保政	老年・神経内科	教授	32年	神経内科・老年病
大澤 春彦	糖尿病内科・臨床検査医学	教授	29年	
野元 正弘	薬物療法・神経内科	教授	40年	
上野 修一	精神科	教授	32年	
石井 榮一	小児科	教授	38年	
檜垣 高史	地域小児・周産期	教授	29年	
田内 久道	感染制御部	准教授	27年	

江口 真理子	小児科	准教授	26年	
福田 光成	小児科	准教授	26年	
太田 雅明	小児科	講師	21年	
石前 峰斉	小児科	講師	26年	
渡部 祐司	消化管腫瘍外科	教授	34年	
山田 耕治	小児外科	准教授	30年	
高田 泰次	肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	教授	34年	消化器外科、肝胆膵・移植外科
泉谷 裕則	心臓血管・呼吸器外科	教授	29年	心臓血管外科
佐野 由文	心臓血管・呼吸器外科	准教授	32年	呼吸器外科
國枝 武治	脳神経外科	教授	24年	脳神経外科
三浦 裕正	整形外科	教授	34年	
佐山 浩二	皮膚科・形成外科	教授	33年	
中岡 啓喜	皮膚科・形成外科	准教授	33年	
雑賀 隆史	泌尿器科	教授	30年	
白石 敦	眼科	教授	31年	
羽藤 直人	耳鼻咽喉科	教授	28年	耳鼻咽喉科
望月 輝一	放射線科	教授	37年	放射線診断分野
濱本 泰	放射線科	准教授	27年	放射線治療分野
杉山 隆	産婦人科	教授	30年	周産期・女性医学分野
松原 圭一	産婦人科	准教授	30年	周産期医学分野
藤岡 徹	産婦人科	准教授	26年	婦人科腫瘍分野

松元 隆	産婦人科	講師	31 年	婦人科腫瘍分野
萬家 俊博	麻酔科蘇生科	教授	33 年	
尾形 直則	整形外科	准教授	29 年	
相引 眞幸	救急科	教授	39 年	
中城 公一	歯科口腔外科	准教授	24 年	
北澤 理子	病理診断科	特任教授、病理部長	23 年	
岡 靖哲	睡眠医療 センター	准教授、センター長	24 年	睡眠医療
			年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

<薬剤部>

- ・研修の主な内容 新採用看護師研修「経口薬の与薬」
- ・研修の期間・実施回数 4月12日
- ・研修の参加人数 76名

<検査部>

- ・研修の主な内容 細菌検査において顕微鏡・培地を駆使しての対応法
- ・研修の期間・実施回数 H28年7月9日～7月10日
- ・研修の参加人数 5名

- ・研修の主な内容 認定臨床微生物技師受験のための知識・実技の習得
- ・研修の期間・実施回数 H28年8月21日
- ・研修の参加人数 1名

- ・研修の主な内容 院内感染対策における最新知識の習得・パネルディスカッション
- ・研修の期間・実施回数 H29年1月12日～1月13日
- ・研修の参加人数 1名

<放射線部>

- ・研修の主な内容 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構
第9回認定講習会
- ・研修の期間・実施回数 平成28年7月30日
- ・研修の参加人数 1名

・研修の主な内容 診療放射線技師基礎技術講習会「X線CT検査」

・研修の期間・実施回数 平成28年8月28日

・研修の参加人数 1名

・研修の主な内容 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構
第19回認定機構主催セミナー

・研修の期間・実施回数 平成29年1月21日

・研修の参加人数 1名

・研修の主な内容 第50回デジタルマンモグラフィ技術講習会

・研修の期間・実施回数 平成29年1月21日

・研修の参加人数 1名

・研修の主な内容 第51回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会

・研修の期間・実施回数 平成29年2月11日

・研修の参加人数 1名

・研修の主な内容 A i 認定講習会

・研修の期間・実施回数 平成28年10月29, 30日

・研修の参加人数 1名

<ME機器センター>

・研修の主な内容 CE勉強会

・研修の期間・実施回数 1年間を通じ、12回

・研修の参加人数 のべ116名

- ・研修の主な内容 医療機器安全管理講習会
- ・研修の期間・実施回数 1年間を通じ、12回
- ・研修の参加人数 のべ206名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

<放射線部>

- ・研修の主な内容 PET研修セミナー
- ・研修の期間・実施回数 平成28年4月24日
- ・研修の参加人数 2名
- ・研修の主な内容 第4回塩化ラジウム注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会
- ・研修の期間・実施回数 平成28年7月9日
- ・研修の参加人数 1名
- ・研修の主な内容 第21回有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム89治療安全取扱講習会
- ・研修の期間・実施回数 平成28年7月30日
- ・研修の参加人数 1名
- ・研修の主な内容 一般撮影領域のEntrance Skin Dose測定セミナー
- ・研修の期間・実施回数 平成28年9月10日
- ・研修の参加人数 2名
- ・研修の主な内容 平成28年度ホールボディカウンタ性能維持等業務に係る集団研修

- ・研修の期間・実施回数 平成28年9月28日
- ・研修の参加人数 6名

- ・研修の主な内容 第20回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会
- ・研修の期間・実施回数 平成28年11月20日
- ・研修の参加人数 2名

- ・研修の主な内容 医用画像情報の管理・運用における実務者向けセミナー
- ・研修の期間・実施回数 平成28年12月18日
- ・研修の参加人数 1名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

<多部署共同>

- ・研修の主な内容 HIV感染症出張講義
- ・研修の期間・実施回数 5月20日、6月29日、8月19日、11月16日、1月16日
- ・研修の参加人数 285名

- ・研修の主な内容 HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護実地研修
- ・研修の期間・実施回数 10月25-28日、1月23-27日、2月20-24日
- ・研修の参加人数 6名 (2名×3)

<検査部>

- ・研修の主な内容 ISO15189取得にむけて (講演)
- ・研修の期間・実施回数 H28年5月13日
- ・研修の参加人数 40名

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ・研修の主な内容 | 確認培地の見方・考え方（講演） |
| ・研修の期間・実施回数 | H28年9月10日 |
| ・研修の参加人数 | 80名 |
| ・研修の主な内容 | POT法の活用法－MRSAの対応を中心に－（講演） |
| ・研修の期間・実施回数 | H28年10月8日 |
| ・研修の参加人数 | 80名 |

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	① 計画	② 現状
管理責任者氏名	病院長 三浦 裕正	
管理担当者氏名	医療情報部長 石原 謙, 看護部長 久保 幸, 薬剤部長 田中 亮裕, 放射線部長 望月 輝一, ME機器センター長 泉谷 裕則, 総務課長 武智 和康, 人事労務課長 久保 秀二, 医事課長 齋藤 英雄, 医療サービス課長 戒能 直樹, 研究協力課 城戸 兼洋	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規 則 第 二 十 二 条 の 三 第 二 項 に 掲 げ る 事 項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術部	
		看護記録	病棟	
		検査所見記録	医療情報部	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規 則 第 二 十 二 条 の 三 第 三 項 に 掲 げ る 事 項	従業者数を明らかにする帳簿	人事労務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究協力課	
		高度の医療の研修の実績	人事労務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	事 項	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 に 掲 げ る	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課	

カルテは医療情報部で一括管理(主に電子カルテ, 古いモノは一部紙カルテ)

1患者1カルテ
病院外への持ち出しは例外を除き原則禁止。禁止にも関わらず持ち出したい場合は, 申請し, 審査を受けることとなっている。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME 機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME 機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 機器センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME 機器センター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部 総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 総務課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部 総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部 総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課 総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課 総務課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	総務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課 人事労務課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状
閲覧責任者氏名	運営部長 赤澤 正人	
閲覧担当者氏名	総務課長 武智 和康	
閲覧の求めに応じる場所	総務課 (医学部管理棟3階)	
閲覧の手続の概要		
開示請求者は、国立大学法人愛媛大学情報公開取扱規程に基づき、「法人文書開示請求」を提出し、承認の決定後、「開示の実施方法の申出書」に基づき閲覧する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 患者中心の医療の実践2. チーム医療の実践3. 医療安全に関する組織的取組4. インシデントの報告と情報の共有5. 機能する医療事故防止対策6. 適切な医療事故への対応7. 患者相談の実施, 指針等の閲覧8. 医療安全管理教育・研修, 啓発9. 医療安全管理マニュアルの作成・更新	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無 (有・無)・ 開催状況: 年 13 回・ 活動の主な内容:<ol style="list-style-type: none">1. 医療に係る安全管理のための指針の策定及び変更に関する事2. 医療事故防止対策の検討及び研究に関する事3. インシデントの分析及び再発防止策の検討に関する事4. 医療事故調査制度に対応する死亡原因判定に関する事5. 医療事故防止のための啓発, 教育及び研修に関する事	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容:<ol style="list-style-type: none">1. 新規採用者へのオリエンテーション2. 医療安全講演会 (3回)3. 医療安全セミナー (4回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容:<ol style="list-style-type: none">1. 医療安全ラウンド: 年2回計画的に実施2. インシデント報告後の現場ラウンド、ヒアリング (随時)3. 改善事例発表会: 年1回医療現場からの公募方式で実施	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： ①院内感染対策に関する基本的な考え方 ②院内感染対策のための委員会その他院内の組織に関する基本的事項 ③院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 ④感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ⑤院内感染発生時の対応に関する基本指針 ⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針 ⑦その他院内感染対策の推進のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： ①院内感染の調査, 予防対策に関すること ②院内感染防止の実施, 監視及び指導に関する活動 ③院内感染発生時の措置に関すること ④職員の院内感染の教育に関すること ⑤その他院内感染防止に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 第 1 回 院内感染対策 ～最近の話題～ (平成28年7月4日～平成28年7月7日 開催) 第 2 回 検体の取り扱いについて これから流行する感染症 ～予防と対策について～ (平成28年11月10日～平成28年11月11日 開催) 第 3 回 疥癬について (平成29年3月2日 開催)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ICT会議において事例を検討し, 問題点の分析を実施している。また, その結果を含めて院内感染対策委員会へ報告し, 重要な事例については, 病院運営委員会及び病院連絡協議会に報告している。 また, 研修会においては, 参加者アンケートから研修会の要望を調査し, 次年度の研修計画の参考としている。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成28年4月26日 医療安全セミナー「麻薬の安全使用について」、「安全・迅速な輸血」 参加人数 337名</p> <p>平成28年12月14日 医療安全セミナー「処方薬の取り扱いについて」、「注射・製剤室における薬剤の安全管理」、「持参薬に関するあれこれ」、「医薬品情報について」 参加人数 200名</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有) 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書として「医薬品安全管理手順書」を作成(平成19年7月1日策定)。平成28年度は7・9・12月に部分改定を行った。現在、平成29年度版改訂中である。</p> <p>医薬品安全手順書に基づく業務の実施状況は医療安全管理部と薬剤部が協働して行う年2回の医療安全ラウンドにおいて各部署の確認を行い、業務改善が必要な事項について指導し、改善を行っている。医療安全ラウンドでの各部署における確認結果は、毎月の医療安全管理部会議、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議で報告を行い、院内での情報共有を行っている。さらに、薬剤部で毎月開催している医療安全管理カンファレンスにおいても報告をし、薬剤師間での情報共有を図っている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>■調剤時以外での禁忌該当薬剤の確認体制 薬剤部薬品情報管理室において、処方薬剤に対して禁忌病名が登録されている入院患者情報を抽出している。抽出された情報に基づき病棟担当薬剤師が担当医に禁忌該当薬剤に対する疑義照会を行い、当該薬剤処方継続の可否の確認、必要に応じて処方提案を行っている。また、疑義照会の結果、既に終了している病名であった場合は病名整理を依頼し、適切に医薬品が使用できるよう努めている。また、これらの病名に関する禁忌の情報は毎月医事課にも報告しており、医事課からも病名整理を依頼している。</p> <p>■医療安全管理委員会への医薬品安全管理報告体制 医薬品安全管理体制を担っている部門(薬剤部)における医薬品の安全使用に係る業務を医療安全管理委員会へ報告している。内容は院内副作用報告件数および医薬品安全性情報報告件数、院内院外疑義照会件数、プレアポイド報告件数、禁忌該当薬剤の確認数等である。医療安全管理委員会は医薬品安全管理体制の部門を監査し、必要に応じて意見することとしている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年24回
・ 研修の主な内容： 医療機器安全管理講習会 CE勉強会	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 対象は中央管理機器 定期点検と日常点検、不良対応点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の標準化	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師) 歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>愛媛大学医学部附属病院副病院長に関する規定 (平成16年4月1日制定) 一部改正により明文化した第3条3</p> <p>病院長は、医療安全を担当する副病院長を医療法施行規則第9条の23第1項第1号に規定する医療安全管理責任者に指名し、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させる。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬品情報管理室において医薬品に関する情報 (イエローレター、ブルーレター、回収・出荷停止、適正使用のお願い、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報、PMDA 医療安全情報、日本医療機能評価機構医療安全情報、添付文書改訂、PMDA からの公知申請情報・適応外情報) を一元的に収集し、院内メーリングリストや院内イントラネットを利用し周知している。また、DI ニュース、プレアポイドニュース、薬事委員会に置いて決定した新規採用・削除薬一覧表 (NewFace) を作成し、院内へ周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>院内において未承認、適応外あるいは禁忌薬 (以後、未承認新規医薬品等) を新たに使用する場合には、未承認新規医薬品等評価部に必要書類を提出する。書類とは①未承認新規医薬品等 申請・報告書式、②患者向け説明文書、③患者同意書、④患者同意撤回書、⑤未承認新規医薬品等を使用する根拠となるエビデンス (文献等)、⑥添付文書であり、未承認新規医薬品等評価部は申請内容に関して未承認新規医薬品等評価委員会に意見を求めた上で使用の可否を決定する。なお、承認された未承認新規医薬品等に関しては実施報告書や適正使用モニタリング等の管理を行う。</p> <p>また、薬剤部において薬剤師が調剤時に当該薬品が未承認新規医薬品等に該当すると認識した場合は、担当医へ疑義照会を行い、必要に応じて妥当性の確認や処方提案を行っている。結果に関しては診療録へ記録し、必要に応じて医薬品安全管理責任者へ報告している。これらの未承認新規医薬品等に係る疑義照会情報は薬品情報管理室で収集し、院内の医療安全管理委員会へ報告する体制をとっている。</p>	

<p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>・担当者の所属・職種： (所属：未承認新規医薬品等評価部 ， 職種 薬剤師 (副薬剤部長)) (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 (薬品情報管理室長))</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 確認方法：各リスクマネージャーを通して確認 指導内容：説明内容，説明手順，説明方法，成立要件，説明同意書，診療録への記載，責任者の配置</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 年 2 回、診療記録監査を行っており、結果をフィードバックしている。(診療記録管理委員会で報告後、カルテ記載上注意すべき点、指導すべき点等を記載医師所属診療科及び院内に周知している) 中央病歴室においても退院サマリや入院診療計画書の確認をはじめ、監査の前段階として入院診療記録の確認作業を行い、不備等あれば記載医師にメールで通知している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・所属職員：専従 (4) 名、専任 (5) 名、兼任 (22) 名 うち医師：専従 () 名、専任 (2) 名、兼任 (12) 名 うち薬剤師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名 うち看護師：専従 (2) 名、専任 () 名、兼任 (6) 名 (注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容： 1. 報告があったインシデントのモニタリング，分析及び影響レベルの判定に関すること 2. インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関すること 3. 安全管理に関する教育・研修等の実施に関すること 4. 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関すること。</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に</p>	

係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・活動の主な内容：
 高難度新規医療技術を用いた医療の適正な提供を図るために、審査を行い、適否等の決定を行う。
 また、全ての症例について、提供された医療の安全性、適正性を定期的に評価する。有害事象発生時及び患者が死亡した場合は、当該診療科から報告を受け、適切な処置や対策を講ずる。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・活動の主な内容：
 未承認新規医薬品等を用いた医療の適正な提供を図るために、審査を行い、適否等の決定を行う。
 また、全ての症例について、提供された医療の安全性、適正性を定期的に評価する。有害事象発生時及び患者が死亡した場合は、当該診療科から報告を受け、適切な処置や対策を講ずる。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 監査委員会の設置状況

有 ・ 無

- ・監査委員会の開催状況：年 2回 (平成29年9月27日済み, 平成30年2月16日予定)
- ・活動の主な内容：
 病院の医療安全に係る業務執行状況の監査に関すること及び安全管理状況及び改善状況に関することを審議する。
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・委員名簿の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・委員の選定理由の公表の有無 (有 ・ 無)

・公表の方法：大学ホームページにおける情報公開に関するページで公表					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
西村 誠明	愛媛県立中央 病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
大熊 伸定			法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
河野 和博	愛媛県難病棟 患者団体連絡 協議会 他		医療を受ける者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況
<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 144 件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 74 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 患者影響レベル 3b 以上のインシデントの分析及び再発防止策の検討。死亡事例検討会の結果報告確認
⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名：北海道大学医学部附属病院）・無 ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名：佐賀大学医学部附属病院）・無 ・技術的助言の実施状況 <p>①光学診療部門における患者氏名確認方法について、バーコード認証に伴う患者氏名確認方法の変更 →光学診療部門での検査マニュアルに「患者確認は、氏名を名乗ってもらい IC カードで確認する。光源の IC カードリーダーにカードを通し、検査名・氏名・生年月日の確認を行う。同日上下部の検査の場合、患者もしくは医療スタッフとダブルチェックする。」の文言を追加し、患者確認を確実にしている。</p> <p>②造影 MRI における同意書の個別化 →造影 MRI の造影剤に関する同意書を作成し、電子カルテ上運用している。</p>

③光学診療部門における臨床工学技士の常在

→常在は困難であるが、平成 27 年 4 月より、上部内視鏡・下部内視鏡機械はリース契約となり、業者のメンテナンスを定期的に（年 2 回）受けている。

また、臨床工学技士は、火曜日・水曜日にできる限り業務に入り、機械の点検を看護師と実施している。点検記録用紙を作成し確実に実施している。

*平成 29 年度から、医療法の改正に伴い、特定機能病院間相互のピアレビューを実施することとなっており、平成 29 年 11 月に滋賀医科大学に訪問し、12 月に弘前大学からの訪問を受け入れ、相互チェックを行うよう計画している。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

総合診療サポートセンターが患者からの相談窓口となっている。個室の面談室 9 室、オープンな相談ブースを 4 カ所設置し、対応している。そこには、メディエーター 1 名、医師 2 名、看護師 16 名、MSW 8 名、心理士 1 名、栄養士 1 名で対応している。中でも、医療安全に係る相談については、総合診療サポートセンターのメディエーターが主に対応し、医療サービス課・医療安全管理部が連携できる体制をとっている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有 無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有 無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有 無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

1. 新規採用者へのオリエンテーション
2. 医療安全講演会（3回）
3. 医療安全セミナー（4回）

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

別紙「様式第 8 号」医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画に示すとおり

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 病院機能評価：公益財団法人日本医療機能評価機構 2016年10月18日～10月19日 * 認定期間 2017年1月21日～2022年1月20日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 本院の目的・目標、果たすべき役割及び実績等をまとめた冊子「医学部／附属病院概要」を毎年作成・発行するとともに、電子BOOKとしてオリジナルホームページにも掲載している。 また、DPCデータによる病院指標も公表し、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくよう情報発信に務めている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 中央診療施設において、複数診療科等を組み合わせたセンターによる診察を行っている。 1. 周産母子センター (産婦人科、小児科) 2. 小児医療総合センター (小児科、心臓血管・呼吸器外科) 3. 呼吸器センター (第二内科、心臓血管・呼吸器外科)	

4. 脊椎センター（整形外科、脳神経外科）
5. 睡眠センター（第二内科、耳鼻咽喉科）
6. 循環器病センター（第二内科、心臓血管・呼吸器外科）
7. 緩和ケアセンター（腫瘍センター、麻酔科蘇生科）
8. 認知症疾患医療センター（精神科、薬物療法・神経内科、老年・神経内科）
9. 子どものこころセンター（精神科、小児科）

等

(様式第8)

愛大医総 第579号
平成29年10月3日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

国立大学法人愛媛大学
学長 大橋 裕

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

院内で実施している医療安全に関する講演会等の内容を充実させ、積極的な受講を推進するとともに、日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加するよう計画している。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（5）名、兼任（22）名
うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（12）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名
うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（6）名
医療安全管理部を設置し、業務内容等を明記した規程を整備

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

現在、薬剤師及び看護師の専従職員は配置済みである。医師については、専任職員を2名配置している。

今後、院内の体制整備を進め、平成30年4月に医師専従職員を配置するよう計画している。

* 医師専任職員を複数名配置した場合は要件を満たしたものとする（平成31年度末迄）